

日本とスペインをつなぐ無料スペイン情報誌「アクエドクト」

www.acueducto.jp

acueducto

2015

23

30-noviembre



「ドン・キホーテ」後篇出版400周年記念特集

El Quijote

基礎から
しっかり
学ぶ!

スペイン語レッスン

話せる楽しさを実感しながら、スペイン語を身に付けよう!

新規開講入門クラスのご案内

- 2016年1月開講 (各クラス定員4名)

月曜日 20:30-21:20 (2016年1月11日~3月28日)

木曜日 20:30-21:20 (2016年1月14日~3月31日)

金曜日 18:30-19:20 (2016年1月15日~4月1日)

受講料: 全12回 44,160円(税込) ※分納可
教材費: 1,944円(税込)

- 65歳以上シニア入門コース

1月13日(水)、1月15日(金) 10:30~

初回コースのみ特別価格 (通常価格44,160円)
全12回 12,000円(税込) ※教材費含む

入会金OFF!
16,400円
(2016年1月末まで)

無料体験レッスン
ご予約はこちらまで

TEL:06-6346-5554

新規開講コースの日程が合わない方、その他の曜日や時間をご希望の方はお気軽にお問合せください。また学習経験者の方は、是非一度レベルチェックを兼ねた無料体験レッスン(要予約)をお試しください。レベルに合ったクラスをご案内いたします。

スペイン語教室アデランテ
(JR大阪駅「桜橋口」徒歩5分)
お問合せはこちら! TEL: 06-6346-5554 E-mail: info@adelante.jp
www.adelante.jp

スペイン・中南米 留学セミナー開催中!



www.spainryugaku.jp

スペイン留学.jp

E-mail: info@spainryugaku.jp

TEL: 06-6346-5554

いつかスペイン語圏に留学してみたいな...と考えているあなたへ!
スペインの都市・学校・コース、滞在方法、費用、学生ビザ、準備方法等を
留学経験のあるスタッフが詳しくご説明いたします。
是非お気軽にご参加下さい!
セミナー後、個人カウンセリングもご予約承ります。

【日時】

2015年 12月23日(水・祝) 14:30~

2016年 1月11日(月・祝) 14:30~

2016年 2月11日(木・祝) 14:30~

セミナー所要時間 約40分/その後個別カウンセリング
※上記日時以外でも随時個別カウンセリングを受け付けております。

【場所】

スペイン語教室アデランテ
〒530-0035 大阪府大阪市北区梅田2-5-8-2F

※参加ご希望の方は、必ず事前にお電話にてお申込下さい。

【お申込・お問合せ】

有限会社ADELANTE
TEL:06-6346-5554 E-mail: info@spainryugaku.jp



スペイン語の本 & 雑貨

オンラインショップ アデランテ
ADELANTE
www.adelanteshop.jp

送料全国一律
¥280

8,000円以上のお買い上げで
送料無料

**30%OFFクーポン
プレゼント!**

-12月末までアデランテショップで配布中-

学習テキスト、文法問題集、レベル別副読本、
D.E.L.E.試験対策本、絵本など
各種取り扱っています。

スペイン情報誌 acueducto 定期購読のご案内

定期購読をご希望の方に、送料をご負担いただき、ご自宅
までお届けしております。ご希望の方は、お申込書をお送
り致しますので下記連絡先までお問合せ下さい。

送料 (1年間:4号分) 1~7冊 ¥1,200 ※冊子のお届けは申込書提出・
8~14冊 ¥2,400 ご入金後となります。

有限会社ADELANTE TEL:06-6346-5554 E-mail: info@acueducto.jp

日本のスペイン語学習の現状を考慮した新しいスペイン語テキスト

Avanzamos

A1

1,944円(税込)

初めてスペイン語に触れる方対象
入門者向けスペイン語テキスト。
外国語学習に必要な4つの技能を伸ばします。

口頭表現 文章読解 聞き取り 読解

- ☑ 2セメスター(1年間)かけて学習できるため、大学でのスペイン語の授業にも最適!
- ☑ プライベートレッスン、グループクラスの両方で使用可能
- ☑ オールカラー/CD付 写真やイラストが多く使われ、視覚やコミュニケーションに重点を置いたテキスト



www.adelante.jp
adelante shop

【お問合せ・ご注文は】
有限会社ADELANTE
〒530-0001
大阪市北区梅田2-5-8
千代田ビル西別館 2F
TEL: 06-6346-5554
FAX: 06-6110-5122
info@adelanteshop.jp

Sumario

- 特集
2 『ドン・キホーテ』後篇出版400年に寄せて 文 蔵本邦夫
- 12 El cuarto centenario de la publicación de la segunda parte de El Quijote 文・写真 Antonio Gil de Carrasco
- パンとチーズとワインがあれば - スペイン料理あれこれ話 vol.1
16 Tortilla 文・写真 渡辺万里
- エコ・エスパーニャ Vol.10
20 ケソ・マンチェーゴ 写真・文 篠田有史
- スペイン留学.jp
22 留学体験記「Valladolid」
- Descubre España
26 Valladolid 文 Turismo de Valladolid 翻訳 井原亜紀
- 31 ADELANTEのスペイン語レッスン
- 初級 スペイン語で話そう Lección 5
〜は誰ですか？
- 中級 スペイン語講座 Lección 23
母音変化動詞の活用について(2) 文 仲井邦佳
- 上級 ビジネススペイン語 vol. 4
利益について 文 伊藤嘉太郎
- 音楽の時間
36 「パレエ・リュス」とスペイン その4 文 下山静香
- HISTORIA DE HISTORIAS
41 スペイン内戦が生んだ「ロバート・キャパ」 第9話 文 川成洋

ご挨拶

今年2015年はスペインの生んだ世界的名著セルバンテス作『ドン・キホーテ』後篇刊行400周年の記念の年に当たります。セルバンテスと『ドン・キホーテ』が日本で初めて紹介されるのは、幕末・明治前期に活躍した儒学者にして洋学者の古賀茶溪(1816-1884)の主著『度日閑言』(1867年)を通してでした。しかし、『ドン・キホーテ』が日本語で読めるようになるには、妙訳『鈍喜翁奇行伝』(明治20年)まで待たねばなりません。スペイン語の原典から日本最初の完訳が出るのは昭和に入ってからのことです。会田由が昭和35年に前篇を、37年に後篇を刊行しております。その後、永田寛定・高橋正武訳、牛島信明訳、荻内勝之訳、岩根園和訳が続きます。

『ドン・キホーテ』後篇刊行400周年を記念して、「日本におけるドン・キホーテ」の専門家として知られる関西外国語大学の蔵本邦夫先生にご執筆いただきました。ご一読いただければ幸いです。また記念行事の一環として、論創社から『ドン・キホーテの世界—ルネサンスから現代まで』が刊行されました。松本幸四郎さんから日本を代表するドン・キホーテ研究者が執筆しています。併せてご一読ください。

En el presente año 2015 celebramos el 400 aniversario de la segunda parte del Don Quijote, la obra maestra de Cervantes. El introductor de esta novela en Japón fue Sakei Koga (1816-1884), el confuciano conocido a finales del siglo XIX, a través de su principal obra "Takujitsu kangen" (1867). Sin embargo, para leer la traducción en japonés, hubo que esperar a 1887, cuando se publicó Don Quijote kikoden.

La primera traducción completa en japonés apareció en la era Showa. Yu Aida publicó la primera parte en 1960 (el año 35 de la era Showa); y la segunda, en 1962 (el 37 de la misma era). Después, Kantei Nagata y Masatake Takahashi, Nobuaki Ushijima, Katsuyuki Ogiuchi, y Kunikazu Iwane sacaron sus versiones sucesivamente.

En este número, con motivo del 400 aniversario, el Prof. Kunio Kuramoto (Universidad Kansai Gaidai), el experto en el Don Quijote en Japón, escribe un artículo muy interesante. Destacar también uno de los eventos más relevantes acerca de este tema, la salida a la luz de "El mundo del Don Quijote: desde el Renacimiento hasta la época contemporánea" por la editorial Ronsosha. Colaboran varios famosos interesados en el Don Quijote, como el actor Koshiro Matsumoto. Estamos muy agradecidos de que inicien su lectura.



坂東省次 ばんどうしょうじ/Shoji Bando
京都外国語大学スペイン語学科長・教授。京都セルバンテス懇話会代表。専攻はスペイン語学、日西交流史。
近著に『スペインを訪れた作家たち』(沖積舎)がある。



acueducto 23

スペイン無料情報誌
noviembre 2015 vol.23
printed in Japan / FREE PAPER
表紙画像 / 出典:Wikipedia

発行元:
有限会社ADELANTE
〒530-0001 大阪市北区梅田2-5-8 千代田ビル西別館2F
Tel: 06-6346-5554 Fax: 06-6110-5122
email: info@acueducto.jp
www.acueducto.jp
ADELANTE Co., Ltd
2FL, Chiyoda Bldg. West Annex 2-5-8 Umeda Kita-ku Osaka
530-0001 Japón

f www.facebook.com/acueducto.japan
t @acueducto_japon



本誌の無断複写(コピー)は著作権法上での例外を除き、禁じられています。本誌の内容および広告に関しては、発行元の責任の限りではありません。

Director:
Shoji Bando 坂東省次

Editor:
Alejandro Contreras アレハンドロ・コントレラス

Maquetación y diseño:
Sachi Yamakage 山陰さち

Colaboradores:
Yo Kawanari 川成洋
Kuniyoshi Nakai 仲井邦佳
Mari Watanabe 渡辺万里
Shizuka Shimoyama 下山静香
Yuji Shinoda 篠田有史
Koichi Hayashi 林コイチ
Kaname Ikemoto 池本かなめ
Azusa Matsumoto 松本あずさ
Aki Ihara 井原亜紀
Antonio Gil de Carrasco アントニオ・ビル・デ・カラスコ
Elena Contreras エレナ・コントレラス
Jesús Martín ヘスス・マルティン

Colaboradores:



スペイン政府観光局
www.spain.info



「ドン・キホーテ」
後篇出版

400th

400周年記念特集



PARTE 1

『ドン・キホーテ』後篇出版400年に寄せて

文章・写真提供 関西外国語大学 教授 蔵本邦夫

『ドン・キホーテ』は、ミゲール・デ・セルバンテス・サーベドラ (Miguel de Cervantes Saavedra 1547-1616) が、1605 年、1615 年に前後篇として発表した、近代小説の祖と称される作品である。今年は後篇出版 400 年となる。内容は、主人公であるドン・キホーテと従者サンチョ・パンサが、無事(?)の人々(人間以外の場合もあるが)を巻き込んでの荒唐無稽な冒険譚、行状記である。一般に前篇より後篇のほうが評価が高い。前篇は滑稽さが強調され、物語が主人公とは関わりのない物語へと逸脱し、後篇と比べ主人公や従者の人物像や性格に焦点が絞られていない。10 年後に書かれた後篇では、物語の展開が前篇での主従の行状をすでに活字化された書物で読んでいる人々の中で繰り広げられて行くが、内容には一貫性を持たせている。そしてなにより後篇の優れた点は、円熟したセルバンテスの文体・筆致が、主従の人物像、性格そして心理状態を、読者に如実に描いて見せてくれた点にある。これこそが後篇の評価が高い理由であり何よりも読者を惹きつけてやまない理由である。ロシアの作家ドストエフスキーは「これは偉大な書であって、今どき書かれているようなものではない。かような書物は、数百年にようやく一冊ずつ人類に贈られるのである。かような人心の奥秘(ていつく)の剥脱は、この書物の 1 ページごとに見出される」(『作家の日記』)と書いた。しかし夏目漱石はイギリスの作家ローレンス・スターンとセルバンテスを「世界の二大諧謔家」とし、『ドン・キホーテ』を「太平を謳歌する様な国運の際、もしくは神経が麻痺して悲哀疼痛を感じざる様になった人間が、現在の状態に溺れ喜んで、浮世を面白く

暮して行くと言う様な不祥な時代に生れる文学である。(中略)真昼間提灯(ちようちんづつ)を点けて往来(ある)を歩行(ある)くのは、世の中の暗黒な所を諷した皮肉な仕業と取れば、取れない事もあるまいが、一方から云えば、鬘(かつら)をつけて花見をするのと同じの気楽さから出ないとも限らない。花見の趣向杯(など)は現在に満足を表する程度の尤も甚しいもので、不平や諷刺の表現でない事は明かである。現に『ドンキホテ』杯でも、多数の評家は諷刺と見ている様だが、私には花見の鬘(もつと)同様な感がある」(『文学評論』)と評した。真意のほどは別として、字句通りに解釈すればこの小説は最たる滑稽文学となる。では過去 400 年間『ドン・キホーテ』はどう読まれてきたのか。17 世紀、この小説は出版されるやたちまち各国語に翻訳され、読者はこぞってこの本を読んだ。その理由がまさに滑稽さゆえであった。17 世紀は『ドン・キホーテ』を「哄笑」で迎えたのである。しかし 17 世紀の実際の人物や出来事なども交えた同時代の人々にとって理解できた「笑い」も、世紀が変わり 18 世紀になると注釈を必要とする。だからこの小説は「微笑」で迎えられ人口に膾炙(かいしや)することも次第になくなる。しかし『ドン・キホーテ』の影響下、イギリスでは小説の歴史が始まった。英文学者漱石の専攻は、皮肉にもその影響を受けた 18 世紀英文学である。19 世紀、『ドン・キホーテ』に転機が訪れる。それはドイツ・ロマン主義の時代、作家の誰もがこの小説を再評価したからである。ロマン派の詩人ハイネは「高貴なる騎士がその義侠の振舞いのことごとくに恩を仇で返されて打擲(ちようちやく)の憂き目にばかり逢うのを見ては、ほうり落ちる涙をそそぐに任せ」(『ドン・キホー



画像 / 出典 : Wikipedia

本稿について / PARTE1: 引用文中の旧漢字を新漢字に改めた箇所があるが、引用文ではドン・キホーテの表記名は努めて原文のままとした。PARTE2: 「主な『ドン・キホーテ』の邦訳」では、『ドン・キホーテ』の移入史理解のために、解説に加え引用文献として各時代ごとの書誌目録と邦訳書の写真を随時付した。

テ』の序」)、^{ママ}「日本近代詩の父」萩原朔太郎は「ドン・キホーテは実に悲しい。そして『悲しい』といふ言葉の中に、あらゆる『美しさ』を含めて居る悲しさである。(中略)ドンキホーテの愚かさを笑うものは、人間の最も厳粛な魂が宿命している、悲劇の意義について知らない所の俗物である」(『ドン・キホーテを見て』)と書いた。19世紀、「愁い顔の騎士」は「悲哀」を持って迎えられたことになる。20世紀は、その目覚ましい科学技術の発展に伴い覇権主義の下、世界は2度の大战を経験する。ドイツの作家トーマス・マンはナチズムの危険性を訴え、ヒトラーを「反理想主義的なドン・キホーテ、陰険で厭世的で暴力を信ずるドン・キホーテ、残忍でいて、しかもなおまさにドン・キホーテだといわれるような人間」(『ドン・キホーテ』とともに海を渡る)、と揶揄しヒトラーの迫害を逃れアメリカへと亡命する。彼がその航海で持参したものは『ドン・キホーテ』であった。「自分でも不思議だが、これまで一度も、その全部をまとめて読み終えたことがなかった」(同)、と彼は告白する。そして初めて読んだ頃を懐かしみながら、また自分をドン・キホーテに重ね合わせながら洋上で読み終えた。20世紀、「郷愁」をもって迎えられた。ドン・キホーテは夢を見る。それも決まって魑魅魍魎が跋扈する悪夢を見る。そして夢破れるとさらに新たな夢を見る。21世紀、コンピューターの急速な進歩によって、私たちはドン・キホーテが夢見た世界をたやすく現実のものとして再現し、彼が夢想した世界を、共有し追体験できる世界へと変えた。21世紀は、ドン・キホーテとの「共生」を可能にすることができる。しかし21世紀が『ドン・キホー

テ』をどのように迎え入れたかは次の世紀の判断を待つしかない。しかし人々がドン・キホーテに共感を覚え、ドン・キホーテの哀しさと優しさを共に分かち合える間は、これからも『ドン・キホーテ』は読み継がれ、たびたび言及されることになる。来年はセルバンテス没後400年を迎えることになるが、2015年2月スペインの新聞(El País紙)は、今まで不明であったセルバンテスの遺骨に関して、マドリッドの教会でセルバンテスの遺骨の一部の照合を終え、ほぼ確信を得たと報じた。セルバンテスとドン・キホーテはそろって400年を迎えることができる。なおセルバンテスが4月23日に亡くなったとする記述が未だに見られるが、正しくは4月22日である。当時の習慣として記録は埋葬日が記載されていた。最後にセルバンテスはこの400年間を予見したかのように、次のように書いている。「拙者は本に描かれ、すでに世界のほとんどすべての、あるいは大半の国々で印刷されて出まわるまでになりました。さよう、拙者の伝記がすでに3万部印刷され、天意がそれを妨げぬかぎり、これから1000部の3万倍も増刷^{まじず}りされようとしております。要するに、すべてをわずかな言葉に、いやむしろ、ただ一言にこめて申すなら、拙者こそドン・キホーテ・デ・ラ・マンチャ、またの名を「愁い顔の騎士」と申す者なのでござる。」(『ドン・キホーテ』後篇16章)

江戸幕末期

日本で『ドン・キホーテ』の邦訳が始まるのは、明治以降である。しかしその紹介が始まるのは私見では江戸幕末期であった。邦訳紹介の前に、移入史にとってぜひ記憶にとどめておくべき3件を江戸幕末期から紹介しておきたい。



／解説 【1】 江戸幕府が幕末にフランスから輸入した洋書が、現在は貴重書として静岡県立中央図書館に葵文庫（江戸幕府旧蔵書）として所蔵されている。その中に『ドン・キホーテ』がある。輸入年は不明である。精しくは拙著『幕末洋学研究とドン・キホーテ』を参照されたい。

Cervantès Saavedra, Miguel de. L'ingénieux hidalgo Don Quichotte de la Manche, traduite et annotée, par Louis Viardot. 2v, nouvelle édition. Paris, n.d.

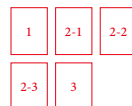
【2】 古賀茶溪（謹一郎）は日本で最初にセルバンテスの伝記と『ドン・キホーテ』を紹介した人物である。文中「争生地」では「ドン・キューコッテ」と邦訳されている。古賀は外交にも関与し、ペリーの浦賀来航の際には答書の起草や直接折衝に当たっている。安政2年（1855）洋学所（翌年、蕃書調所と改称、東京大学の前身）頭取となり洋学の興隆に努めた。茶溪の著書は『度日閑言』である。これは暇に任せて西洋の文物、文学、文化関係の事柄

をオランダ語の書物、百科全書、雑誌から漢文に翻訳したものである。この翻訳書（手稿）は慶応3年（1867）に完成し、全25巻で現在国立国会図書館に所蔵されている。

【3】 日本で最初に『ドン・キホーテ』を読んだことが確認できる人物は、茶溪と親しくしていた中村敬宇（正直）である。彼は慶応2年に幕府からの留学生12名の監督となって渡欧し、英国ロンドン滞在1年余、明治元年（1867）帰国している。彼は明治4年（1871）に、明治のベストセラーとなった『西国立志編』、明治11年（1878）『西洋品行論』の著者としても夙に有名である。中村は、ロンドン滞在中に2冊英訳の『ドン・キホーテ』を購入し、かつ読んだ形跡が書き込みからも明らかであり、また留学中にはスペイン語を学習していたことを裏付ける資料も残っている。

Cervantes, Miguel de. (1866) Adventures of Don Quixote de la Mancha. Tr. Charles Jarvis, London, George Routledge and Sons.

明治時代 その1



【1】 翻訳者不詳『欧州情史玉薔薇』九春堂。明治18年（1885）11月25日第96号から翌19年1月25日第102号まで雑誌『吾妻新誌』に連載。7回連載。総28頁 【2-1, 2-2】 仏国セルバント氏（著）・愛花仙史（関）・斎藤良恭（訳）『欧州新話谷間乃鷺』共隆社 明治20年（1887）【2-3】 仏国セルバント氏（著）・愛花仙史（関）・斎藤良恭（訳）『欧州新話谷間乃鷺』大川屋 明 26年（1893）【3】 仏国セルバント氏（著）・愛花仙史（関）・中村柳塙（訳）、『欧州情史美人の罌』共隆社 明治20年（1887）

／解説 【2】 斎藤訳の序文「^{イスパニヤ}西班牙の小説『^マドンキーショット』中に録するもの」や、『谷間の鷺』と同じ原書を使ったとする【3】中村訳の序文を読むかぎり、これらが本邦初の邦訳『ドン・キホーテ』となる。また【3】は翻訳者不詳【1】の完訳である。【2】や【3】の挿絵画家は尾形月耕である。【2】はよく売れたのか、異装版や明治26年の再版などもある。【1】、【2】、【3】の共通点は、校閲者が愛花仙史（三木貞一）であることだ。ところでこれらの翻訳には奇妙な点がある。それは【2】や【3】の話が、『ドン・キホーテ』には見当たらないことである。実はこれらは、1613年にセルバンテスが出版した『模範小説集』中の作品を翻訳したものであったからだ。【2】は『血の呼び声』、【1】と【3】は『いつわりの結婚』である。さらに表紙にはフランス語で「NOUVELLES DE CERVANTES」と印刷されている。それ故か、著者は「仏国セルバント」と誤解が生じている。本邦初の邦訳ではなかったが、しかし序文を読んだ明治の人々は、これを『ドン・キホーテ』だと思ったに違いない。



【4】ワ・シ（訳編）『鈍喜翁奇行伝』賛育社 明治20年（1887）7月－9月（『教育雑誌』第39号－第46号）【5-1】松居松葉（抄訳）『鈍機翁冒険譚』（上・下）博文館 明治26年（1893）（『世界文庫』第9・10編）【5-2】異装版 明治29年（1896）【6】尾島濱太郎（訳）『世界奇書ドンキホーテ^{ママ}』育成会 明治35年（1902）＊尾島濱太郎（訳）『ドン・キホーテ^{ママ}の中の一章』帝国文学会 明治34年（1901）（『帝国文学』第7巻第10）【7】佐々木邦（訳）『ドン・キホーテ物語』内外出版協会 明治42年（1909）【8】近藤敏三郎（纂訳）『新訳ドン・キホーテ物語』精華堂書店 明治43年（1910）

／解説 日本で最初の邦訳は、明治20年4月の『谷間乃篤』と、同年10月に出た『美人の罟』の間、7月から9月にかけて青少年向けの『教育雑誌』に連載された【4】ワ・シ（訳編）『鈍喜翁奇行伝』（連載8回）が最初である。セルバンテスの前篇第20章迄を、第1回から第5回に分けて抄訳している。ただし第3回以降は上下に分けたために8回訳載された。しかし未完に終わっている。訳者はワ・シと書かれているので、主筆の渡辺修二郎（国立国会図書館著者名典拠録の表記に従う。また本名は修次郎とある。）であろう。明治時代、もっとも重要な翻訳が【5】松居松葉（真玄）『鈍機翁冒険譚』（上・下）である。後に号を松井松翁と改めた。明治にあつて初めて前篇を抄訳であれ翻訳したことが、この本の重要なところである。しかし訳者は読者の便宜を考えて、登場人物名を漢字表記とした。これには訳者自身も後悔することになった。たとえば「ドン・キホーテ・デ・ラマンチャ」は「どんきほーてーどらまんか」「サンチョ・パンサ」は「さんこうばんざ」である。明治時代、変わった翻訳者としては精神科医である尾島濱太郎（本名：石田昇）がいる。東京大学医学部在学中、懸賞小説に入選し小説家を目指す一方で、『ドン・キホーテ』の前篇第14章、後篇第62章の抄訳を、雑誌『帝国文学』に発表する。そして翌年には全訳を志し、まずは前篇第6章までを【6】『世界

奇書ドンキホーテ^{ママ}』として出版する。しかし二足の草鞋を履けぬと分かり、精神科医への道へと進むが、後年留学先のアメリカで精神障害を起こし同僚の医師を銃で殺害したために終身刑を言い渡された。それゆえ長らく彼の名前は精神病学の世界では禁句であつたと聞く。その後は病状悪化のため帰国した尾島は、東京大学卒業後に最初に勤めた東京府松沢病院（前東京府巣鴨病院）で、回復することもなく、ドン・キホーテと同様、ある時は理路整然と会話をし、またある時は狂気の淵を彷徨いながらその生涯を閉じた。アメリカ留学時に尾島の後任として長崎大学医学部に来たのは、後輩となる精神科医であり歌人でもある斎藤茂吉であつた。尾島は留学前に斎藤を長崎で案内している。斎藤は尾島の帰国後、何度か尾島を見舞うかたわら、「洋傘を持てるドン・キホーテは浅草の江戸館に来て涙をおとす」という短歌を残した。作家であり英文学者でユーモア文学を得意とする佐々木邦は、前後篇の抄訳である【7】『ドン・キホーテ物語』を出版する。その後大正時代になってから全訳を出版した。同じく【8】近藤敏三郎（纂訳）『新訳ドン・キホーテ物語』も前後篇の抄訳である。

ちょっとブレイク その1



セルバンテスが生まれた町

マドリッド近郊にある町、アルカラ・デ・エナーレスは「ドン・キホーテ」の作者セルバンテスの生まれた町。1499年に創立されたアルカラ大学があり、ここではスペインで最も権威のある文学賞「セルバンテス賞」の授賞式が行われています。町の中心部には、セルバンテスの像があるセルバンテス広場や、セルバンテスが生まれた家を再現した博物館、アンテナサナ病院など見どころ満載。大学と歴史地区は世界遺産にも登録されています。また、マドリッドからは「セルバンテスの列車」というアルカラ・デ・エナーレス観光プラン付きの電車も運行しており、人気があります。

Alcalá de Henares
マドリッドから約30km。
電車で30分ほど。



【1-1】佐々木邦（訳）『全訳ドン・キホーテ』東亜堂書房 大正 3 年（1914）【1-2】佐々木邦（訳）『全訳縮刷ドン・キホーテ』大文館書店 大正 14 年（1925）※佐々木邦（訳）『全訳ドン・キホーテ（全）』大文館書店 大正 15 年（1926）【2】片上伸（編訳）『冒険廻国ドン・キホーテ』博文館 大正 3 年 7 月（1914）（世界少年文学）【3】服部壽香（著）『ドン・キホーテ物語』河野書店 大正 3 年（1914）（世界名著物語 XIII）【4】笹川臨風（編集）通俗教育普及会（編訳）『通俗ドン・キホーテ物語』通俗教育普及会 大正 4 年（1915）（通俗叢書）【5】島村抱月・片上伸（訳）『ドン・キホーテ』（上巻・下巻）植竹書院 大正 4 年（1915）【6】永橋卓介『ドン・キホーテ』金の星社 大正 13 年（1924）（世界少年文学）【7】柴孝平（述）『セルヴァンテス物語ドン・キホーテ』文京書院 大正 14 年（1925）（世界文芸物語叢書 II）

／解説 佐々木邦は、明治の翻訳を【1】『全訳ドン・キホーテ』と改題し出版した。しかしこれも前後篇の抄訳である。もちろん明治のものと較べて翻訳量は遥かに多く、これで前後篇の物語を窺い知ることは十分可能になった。「全訳」とは、出版当時、「最も翻訳量が多い」翻訳であるという意味で取ればよい。【3】服部壽香（著）『ドン・キホーテ物語』は、前後篇の抄訳である。序文は森林太郎（鷗外）で、解説が島村抱月である。島村はドン・キホーテをハムレットと比較している。この比較はすでに明治の末から始まっていた。史学家、評論家、作家でもあった笹川臨風が編集したのが、前後篇抄訳の【4】通俗教育普及会（編訳）『通俗ドン・キホーテ物語』である。そして大正時代最も注目すべき翻訳が、【5】島村抱月・片上伸（訳）『ドン・キホーテ』（上巻・下巻）である。上巻・下巻合わせて 2000 頁にも及ぶ、本邦初の英訳からの完訳本である。【3】服部（訳）で解説を書いた島村は、前篇の抄訳である【2】『冒険廻国ドン・キホーテ』を出版したロシア文学専攻の早稲田大学教授片上伸と、この偉業を成し遂げたのである。翻訳は主に片上が担当し、校閲を島村が行った。スペイン語に関しては、東京外国語学校の海老名毅介に照合を担当させたというが、サンチョ・パンサが「サンチョー・パンザ」など、どこまで照合したのかは怪しい点もある。文部省は明治 44 年（1911）に、優れた文学作品の普及を目的として文芸委員会を設立した。『ドン・キホーテ』は翻訳事業として候補に挙がっていたが、その後大正 2 年（1913）には会は廃止された。しかし翻訳は継続事業として進められ、この完訳本が完成したのである。だから出版時文部大臣高田早苗の「序文」がある。このあたりの経緯に関しては、昭和 2 年（1927）の片上伸（訳）『ドン・キホーテ』の序文を参照されたい。【6】永橋卓介『ドン・キホーテ』は、前後篇の抄訳で、児童文学書としての翻訳である。【7】柴孝平（述）『セルヴァンテス物語ドン・キホーテ』は、一般向けの前後篇の抄訳で、奥付を見ると 11 月に出版され 12 月にはすでに第 4 版を数えている。

ちょっとブレイク その2 ☕



セルバンテスの生家を巡る

アルカラ・デ・エナーレスには、セルバンテスが生まれ、幼少期を過ごした家があります。2階建ての博物館になっており、1階には招待客や医師であるセルバンテスの父親の患者を迎える共有スペース、2階には寝室やセルバンテスの作品を展示した部屋が。またパティオには井戸もあります。

Museo Casa Natal de Cervantes

C/ Mayor, 48 28801 Alcalá de Henares

Tel: +34 91 889 96 54

開館: 火曜～日曜 10:00～18:00 (入場17:30まで) / 入場無料

休み: 月曜、1/1、1/6、5/1、12/24、25、31



様々な年代に出版されたセルバンテス作品が展示されています

【1-1】 新潮社（編）『世界文学全集 第4巻 ドン・キホーテ』 新潮社 昭和2年(1927) 【1-2】 片上伸（著・訳）『ドン・キホーテ』（第1巻～4巻） 新潮文庫 昭和17年(1942)－昭和19年(1944)（新潮文庫）【2】 森田草平（訳）『ドン・キホーテ』（上巻・下巻） 国民文庫刊行会 昭和2年(1927)－昭和3年(1928)

1-1 1-2 2



／解説 大正時代に始まった片上伸の翻訳は、昭和になっても継続出版される。昭和2年(1927)に出版された【1-1】新潮社版の『ドン・キホーテ』は、昭和時代前期に最も普及した翻訳であった。内容は、大正4年(1915)島村・片上（訳）『ドン・キホーテ』（上巻・下巻）の、上巻（前篇）を新潮社が世界文学全集普及版として出版したものである。しかし再版を機に片上は2回改訂を行い、さらに数回にわたって校正の読み直しを行った。その後、同社から文庫本（全4巻）として出版された。大正の島村・片上の完訳に次いで、2番目となる完訳が【2】森田草平（訳）『ドン・キホーテ』（上巻・下巻）である。森田は序文（下巻）で、「時代が移れば、風俗人情も移る。風俗人情に憑依することの最も多い文学に於ては、或時代に持て囃された傑作でも、次の時代にはそれ程持て囃されなくなる、少なくとも、その時代の人が読んで面白いと思った程、遠く年所を距てた後代の者に面白くなるのは、蓋し理の当然と云はなければなるまい。外国文学に於て特にその感が深いのである。その意味に於て、ゲーテもシェクスピアも私にはさほど面白くない。面白いと云いたい、そう云はれないのが正直なところである。その間にあって、この『ドン・キホーテ』ばかりは翻訳していながらも、時々筆を抛って笑い出す程本当に面白かった。（中略）篇中真面目な恋物語は、その牧歌的叙情詩と共に、概して面白くなかった。（中略）兎に角長たらしいばかりで面白くなかった。訳者に面白くない位だから読者には尚更面白くなろう。が、そんな所を度外視しても、『ドン・キホーテ』は永遠に生命のある珍書である、傑作である。」余談になるが、「ローマは1日にして成らず。」という有名な諺がある。この諺はスペインの作家セルバンテスの『ドン・キホーテ』が出典であるとされている。しかし『ドン・キホーテ』にはそのような諺は見当たらない。これは『ドン・キホーテ』をスペイン語から英訳したときに、翻訳者が敢えて「ローマ」と地名を変えたことによる。もとの地名はウラーカの籠城したサモラであった。『ドン・キホーテ』中の諺は次のようなものである。“No se ganó Zamora en una hora.”「サモラは1時間では陥落しなかった。」というものであった。これは後篇第71章に出てくる諺で、サンチョ2世が自分の即位を認めようとしないうラスティーリャ皇女ウラーカの立てこもるサモラ城を7か月も包囲した故事に倣って作られた諺である。諺は従者

サンチョ・パンサばかりが言っていると思いがちだが、これはドン・キホーテがサンチョに言った諺であって、その内容とするところは「急いで事は仕損ずる。」の例えとして用いたものであった。翻訳者が地名を変えた理由は、サモラが馴染みのない地名だからであろう。この訳例を邦訳書で確かめてみる。大正4年(1915)島村・片上（訳）は原本にイギリスのオームズビー訳（John Ormsby）を用いている。そしてさらに同じくイギリスのジャービス版（Charles Jarvis）とシェルトン版（Shelton）を参照したとも「序」に書かれている。イギリスはドン・キホーテを最初に翻訳した国であり、その最初の翻訳者はトーマス・シェルトン（Thomas Shelton）で1607年のことであった（出版は前編が1612年、後編が1620年）。スペインでの『ドン・キホーテ』の初版が1605年であるから、如何にこの本が評判を得ていたのかがこの翻訳の早さからもわかる。さて大正4年の邦訳が用いたオームズビー版は、問題の諺を“Zamora was not won in an hour.”と翻訳している。そして邦訳書も「ザモラは一刻に手に入らなんだ。」となっている。スペイン語の原文と同じである。では邦訳書が参照したジャービス版やシェルトン版はどうなっているのか。ジャービス版は“Zamora was not taken in one day.”になっていて、地名はサモラではあるが時間が1時間から1日が変わっていた。イギリスで最初の翻訳になるシェルトン版は“Rome was never built in one day.”とtaken(占領される)がbuilt(建てられる)に、時間が1日、そして地名がローマへと変わっていた。ローマに地名が変わったのはここに原因の発端があった。ちなみに夏目漱石がロンドン留学中に買って読んだ『ドン・キホーテ』のスモレット版（Tobias Smollett）は“Zamora was not taken in one hour.”となっている。さて森田（訳）は翻訳にあたって最も定評のあるモットー版（Peter Motteux）を選んだと書いているが、問題の諺は“Rome was not built in a day.”「ローマは1日で建設せられたのではない。」と、シェルトン版のneverをnotに変えただけのものであって、明らかにシェルトン版を踏襲していることが窺い知れる。この邦訳書は島村・片上のものよりよく売れたことが版数からもわかる。だから日本でも「ローマは1日にして成らず。」は『ドン・キホーテ』が出典だと考えられるようになったのも無理からぬことであろう。

Museo Casa Natal de Cervantes

博物館の中を
覗いてみよう

建物内は、セルバンテスの作品展示室の他、食堂や浴室、寝室など当時の様子を再現した部屋を見ることができます。





【3-1】永田寛定(訳)『ドン・キホーテ』(正編3冊・続編2冊) 岩波書店 昭和23年(1948)ー昭和52年(1977) ＊高橋正武(訳)『ドン・キホーテ』(続編3) 岩波書店 昭和52年(1977) 【3-2】永田寛定(訳)『ドン・キホーテ』 岩波書店 昭和26年(1951) (岩波少年文庫) ＊永田寛定(著)『ドン・キホーテ』 岩波書店 昭和8年(1933) (岩波講座世界文学) 【4-1】進藤遠(訳)『ドン・キホーテ』 思索社 昭和24年(1949) 【4-2】進藤遠(訳)『ドン・キホーテ』 河出書房 昭和26年(1951) (世界文学全集古典篇第9巻) 【5-1】会田由(訳)『ドン・キホーテ』 河出書房新社 昭和33年(1958) (世界文学全集第三期1) 【5-2】会田由(訳)『ドン・キホーテ』(前篇・後篇) 筑摩書房 昭和35年(1960)ー昭和37年(1962) (世界文学大系10・11) ＊会田由(訳)『セルバンテス』 筑摩書房 昭和47年(1972) (筑摩世界文学大系15)

／解説 『ドン・キホーテ』に関する紹介や評論はすでにあったが、昭和8年永田の日本で初めての本格的な研究書が岩波講座世界文学の一書として出版された。ここに専門的な研究が緒に就くことになる。そしてそれまでの英訳と違い、初めてスペイン語原典からの翻訳として、永田は【3-1】『ドン・キホーテ』(正編3冊・続編2冊)を岩波文庫から出版する。永田は岩波茂雄に「あまり大事をとって、ぐずぐずしていると、着手しないうちに死んでしまいますよ」と言われたというが、その通りになってしまった。昭和23年に始まった翻訳は、昭和52年に弟子の高橋が続編2の注と続編3の翻訳を引き継ぎ完結することになった。これから以降の紹介する翻訳は堀口訳を除いてスペイン語からの翻訳である。【4-1】進藤遠(訳)は前篇27章までの翻訳で、【4-2】進藤(訳)は前篇の翻訳である。なお【4-2】の月報には会田由が寄稿している。【5-1】会田(訳)は前篇の翻訳である。出版については「曲がりなりにも、一応形をなしたのは(中略)東京外国語学校卒業の鼓直君の助力の賜である。最後の9章ばかりは鼓君に下訳をしてもらった」(「解説」)とある。【5-2】会田(訳)は、師に先んじて日本で最初に原典から完訳を行った翻訳である。前篇の翻訳は永田、完訳は会田が先となる。しかしこれには裏話がある。後輩になる大島正が「筑摩書房の世界文学大系の中に『ドン・キホーテ』が入ることに決ってからのことであったが私は所用があって、

会田由氏宅を訪ねた。彼は『ドン・キホーテ』の翻訳をしている最中であつた。ふと机の上を見ると、大きな原稿用紙に岩波版『ドン・キホーテ』が一頁ずつ貼ってあり、彼はそれをできるだけ自分の文章に直しているのであつた。いわゆる日文日訳である。私は彼に、そんなやり方はおかしいと思わず口ばしした。会田氏は私よりも、はるかに先輩であつたが、ともに永田先生について習った、いわば相弟子である。だから、会田氏の態度にいささかむかつ腹を立てた。『そうはいってもナ、出版社は早く原稿をとせき立てるので仕方なく、こんなことをやっているのだ』というのが彼の返事であつた。私はそれだけならまだ許せたが「永田の訳は下手な上に間違いが多くてナ」という彼の言葉に対しては憤慨などという表現ではすまされないものを感じた。永田訳は決して拙訳ではない。むしろ名訳である。翻訳には誤訳はつきものである。すくなくとも恩師の旧訳を無断で利用しながら、言う言葉ではないと思った。そこで2人の間にいささか険悪なやりとりがあつたように覚えているし、それ以後私は会田氏とは気持の上でしつくりいかなかったように思う。翻訳文には、創作と同じ意味の独創性はないかもしれないが、いくら急いでも、他人の訳文を原稿用紙にはりつけて、日文日訳というのは誠に恥ずべきやり方である。しかし、後でよく考えてみると、会田氏は恩師の旧訳をそのようなかたちで利用することに、後めたさを感じたに違いない

次のページへ

ちょっと ブレイク その3



「ドン・キホーテ」豆知識

- ✦ 2ユーロコインには、ドンキホーテが描かれています。
- ✦ 世界中で人気のある「ドン・キホーテ」。聖書の次に多くの国で出版されています。
- ✦ 2002年、世界54カ国の著名な文学者100名の投票による「史上最高の文学百選」で1位を獲得。



見本



「ドン・キホーテ」名言紹介

- ✦ No es oro todo lo que reluce. 光るものが全て金だとは限らない。
- ✦ Donde una puerta se cierra, otra se abre. 棄てる神あれば助ける神あり。
- ✦ Todos los duelos con pan son menos. パンさえあれば、たいいの苦しみは乗り越えられる。
- ✦ Por la calle del ya voy, se va a la casa del nunca.
「そのうちやる」という名の道は、「決してすることはない」という家に続いている。



5-3 5-4 6-1 6-2 7

【5-3】会田由・大林彦彦(編訳) 『ドン・キホーテ』 白水社 昭和42年(1967) 【5-4】会田由・牛島信明(編著) 『ドン・キホーテとセルバンテス』 さ・え・ら書房 昭和46年(1971) 【6-1】セルバンテス(著) 堀口大樹(訳) 『ドン・キホーテ』 新潮社 昭和40年(1965) 【6-2】堀口大樹(訳) 『ドン・キホーテ』 講談社 昭和51年(1976) (世界文学全集6) 【7】牛島信明(編訳) 『ドン・キホーテ』 岩波書店 昭和62年(1987) (岩波少年文庫)

と思った。だからできるだけ永田訳に変化をつけようとしたので、原文の真意をつかみ損ねる結果になることもあったのだろう(大島正『スペイン文学への誘い』)と書いている。昭和47年版の会田(訳)は、前後篇の合本版である。昭和時代後期にあつては、出版社が変わり、装丁が変わっても、出版される『ドン・キホーテ』の翻訳はそのほとんどが会田(訳)であったことは事実である。【5-3】は青少年向けの前後編の抄訳である。翻訳を会田、編集を大林が担当した。【5-4】は【5-3】と同じく青少年向けではあるが、ルビが多く見られることから、むしろ児童文学書である。昭和46年(1971)に会田が急逝したことを受けて、編集と『セルバンテスの生涯』を牛島が担当した。【6-1】堀口(訳)はフランス語からの翻訳である。堀口は日本の近代史に多大の影響を与えたフランス文学者、詩人であり、夙に有

名である。名前は本名で、父が東京大学の学生で、大學が生まれたのが東京大学の赤門近くであつたので、この名前を付けたのである。堀口は「20代の2年間をスペイン本土に、1年半をスペイン語を国語とするメキシコに、また5年間をスペイン語の双生児に近い姉妹語ポルトガル語が国語のブラジルで過ごしているので、セルバンテスの母語とは、昔なつかしい馴染の仲なので、昔を思い出し、仏訳を参照しながら、この訳をなした」(『まえがき』)とある。前篇の翻訳である。【6-2】は新潮社版を、普及版として講談社世界文学全集の1冊に加えたものである。【7】は岩波少年文庫として、昭和26年【3-2】永田(訳)を、牛島が新訳、再編集して出版した。

平成時代



1-1 1-2 2 3

【1-1】牛島信明(訳) 『新訳ドン・キホーテ』(前篇・後篇) 岩波書店 平成11年(1999) 【1-2】牛島信明(訳) 『ドン・キホーテ』(前篇3冊・後篇3冊) 岩波書店 平成13年(2001) 【2】セルバンテス(著) 荻内勝之(訳) 堀越千秋(絵) 『ドン・キホーテ』(全4巻) 新潮社 平成17年(2005) 【3】岩根園和(訳) 『新訳ドン・キホーテ』(前編・後編) 彩流社 平成24年(2012) *岩根園和(訳) 『贋作ドン・キホーテ』(上下) 平成11年(1999) (ちくま文庫)

／解説 昭和時代末から平成にかけて、『ドン・キホーテ』研究を牽引する役割を果たしてきたのが牛島である。師会田の後を受け、昭和46年『伝記』を書き、昭和62年岩波少年文庫で永田の後を継ぎ、満を持して【1-1】牛島信明(訳)『新訳ドン・キホーテ』(前篇・後篇)を発表した。初めて原典からの翻訳が始まって半世紀あまり経って、ここから『ドン・キホーテ』の翻訳の新しい時代が始まることになる。その後は【2】荻内(訳)、そして1番新しい出版が【3】岩根(訳)である。岩根は『贋作ドン・キホーテ』(上下)も翻訳している。

執筆者
プロフィール

蔵本邦夫 くらもとくに / Kunio Kuramoto



関西外国語大学教授。専攻はスペイン文学および日西比較文学研究。著書に『滅びと異郷の比較文化』(共著、思文閣出版)、『セルバンテスの世界』(編著、世界思想社)を始めとする日本におけるセルバンテスの受容史や、森鷗外、夏目漱石を始めとする日本作家におけるスペイン文学の影響などを研究した著書・論文多数。

VEN AL COLEGIO DELIBES... ¡ SALAMANCA TE ESTÁ ESPERANDO !

コレヒオ デリベスにお越しください。 サラマンカがあなたを待っています！

歴史、芸術、学生の街として有名なサラマンカ。
この街では、訛りのないスペイン語が話されているため、
スペイン語を学ぶのにぴったりの環境です。

コレヒオ デリベスの教室で学ぶスペイン語は、サラマンカの通りで耳にするスペイン語とまったく同じです。ここでは訛りのない美しいスペイン語を学ぶことができますのです！

また、サラマンカは大都市の利便性と、小さな街の治安の良さや親しみやすい雰囲気両方を兼ね備えています。

是非、サラマンカへお越しください！

きっとご自分の家にいるような心地よさを感じていただけると思います。



コレヒオ デリベスでは・・・

- 個人カウンセリングや希望に応じた柔軟な対応
- 14種類にも及ぶインテンシブコース(1日4～6レッスン)
- レベルは全14レベル
- 学生は若者からシニア層まで40カ国の国々から
- クラスの人数は最大10名
- 学校が厳選した滞在先(ホームステイ・学生寮・シェアアパート・個人用アパート・ホテル)
- スペイン文化やスポーツなど様々なアクティビティを提供
- エアコン完備の26教室と図書室
- スペイン料理教室

colegiodelibes

Y TÚ... HABLAS ESPAÑOL?

Colegio Delibes
Avda. Italia, 21
37007 Salamanca. España

Tfno: +34 923 120 460
Fax: +34 923 120 489
www.colegiodelibes.com
delibes@colegiodelibes.com

音楽と美術の旅

ピアニスト下山静香とめぐる 黄金世紀の輝き～

セルバンテス没後400年記念

マドリッド&ラ・マンチャ〈ドン・キホーテ街道〉の旅9日間

下山静香氏による各訪問地のレクチャー&2回のピアノコンサート、
そして「サルスエラ」(スペイン風オペレッタ)の鑑賞をお楽しみいただきます。



カンボ・デ・クリプターナ
「ドン・キホーテ像」
(イメージ)

限定25名様募集

■旅行期間と旅行代金 添乗員同行

2016年5月15日(日)
～5月23日(月)

(2名1室/エコノミークラス利用の場合)

お1人様 **428,000円**

■1人部屋利用追加代金64,000円(相部屋可)
※ビジネスクラスのご希望も承ります。

燃油サーチャージが別途必要となります。(目安26,000円～30,000円・2015年10月1日現在) ※また、成田・羽田空港使用料・保安サービス料および現地空港諸税が別途必要となります。



トレド「サンタ・クルス美術館」(イメージ)

ラ・マンチャ地方の古都「アルマグロ」
ではパドールにご宿泊!

パドール・デ・
アルマグロ

16世紀の修道院を改築したスペインでも人気のパドールです。



トレド(イメージ)

♪ 下山静香氏プロフィール ♪

桐朋学園大学卒業。ヨーロッパ各地の音楽祭で研鑽を積む。99年、文化庁派遣芸術家在外研修員としてマドリッドへ。故R.M.クチャルスキのもと、スペイン音楽研究を深める。その後、バルセロナのマーシャル音楽院にて、C.ガリガ、故C.ブラーボ(モンボウ夫人)、故A.デ・ラローチャに師事。スペイン各地に招かれリサイタルを行う。バロックから現代まで幅広いレパートリーを擁するほか、スペイン・中南米ピアノ音楽の発掘紹介にも力を入れている。室内楽・二重奏も重要な活動軸とし、これまで数々の海外アーティストと共演。現在、ピアニストとして各地で演奏活動を展開するかわら、執筆・翻訳・講演とこなすユニークな存在。メディア出演多数。リリースCD6枚、校訂・解説楽譜2冊、翻訳書1冊、共著8冊がある。2003～2011東京芸術大学、2008～桐朋学園大学、2014～東京大学非常勤講師。



お申込みは先着順となります。

お早めにご連絡ください。

詳細パンフレットおよび条件書をご用意しております。お気軽にご請求ください。

旅行企画・
実施



郵船グループ

郵船トラベル株式会社

〒101-8422 東京都千代田区神田神保町2-2 波多野ビル9F
平日9:30～17:30 土曜・日曜・祝日は休業となっております。

音楽・美術ツアー専用デスク 担当:宮本・中田・大橋

フリーダイヤル **0120-319-105**

TEL.03-5213-6240 FAX.03-5213-6235 E-mail:tst@ytk.co.jp



FOR SHOPPING LOVERS

マドリッド カステジャーナ店
バルセロナ ディアゴナル店



DEPARTMENT STORES
SPAIN & PORTUGAL

特別ご優待

10%
のリワード
+ タックスリファンド



お住まいではない外国からのお客様のために。その他の制限事項については店舗にてご確認ください。

スペインからのご挨拶

El cuarto centenario
de la publicación de la segunda parte de

El Quijote

ドン・キホーテ後篇出版400周年記念イベント



El Quijote es un libro universal, un libro que puede leerse en cualquier país o cultura, porque refleja las virtudes y los defectos del ser humano. Siempre que escuchamos su título lo asociamos a la imagen de un caballero idealista, generoso, justo, al que acompaña un sencillo personaje honesto, pero interesado, aventurero pero familiar, inculto pero con afán de aprender, en definitiva acompañado por un buenazo que espera sacar provecho en el acompañamiento de su amo. Es un libro que contiene dos partes: la primera publicada en 1605 por un Miguel de Cervantes que en aquel momento era relativamente desconocido, y la segunda, publicada en 1615, donde Cervantes es ya un escritor de éxito, fundamentalmente gracias a El Quijote, pero con obras publicadas de una gran altura literaria.

ドン・キホーテは、国や文化を問わず楽しむことができる世界的な作品です。なぜなら普遍的な人間的美徳や欠点が描かれているからです。タイトルを聞けばすぐ、高い理想を持ち、高潔かつ正義心にあふれる騎士が浮かびます。従えるのは正直者で素朴、けれども欲も冒険心にもあふれて気さく、無教養ながら向上心がある男、つまりは主人に仕えることで褒美を期待するお人よしサンチョです。ドン・キホーテは前篇と後篇に分かれています。前篇は1605年当時無名だったミゲル・デ・セルバンテスにより出版されました。後篇は1615年に出版されましたが、この時セルバンテスは高い文学価値を持った作品、主にドン・キホーテの成功により人気作家となっていました。

Entre la primera y la segunda parte hay grandes diferencias, sobre todo de concepto: la primera bajo el título “Ingenioso hidalgo” y la segunda “Ingenioso caballero”, títulos que dan a entender al lector el cambio de actitud del autor respecto a nuestro caballero andante. En cualquier caso, no hay la menor duda de que el éxito de la segunda parte se debe a la fama de la primera, que en 1615 tenía más de diez ediciones oficiales y otras muchas ediciones piratas, además de traducciones a varios idiomas y un sinnúmero de distintas publicaciones que pretendían imitarla.

前篇と後篇の間には、特に概念の点で大きな違いがあります。前篇のタイトルが「才智あふれる郷士ドン・キホーテ・デ・ラマンチャ前篇」であるのに対し、後篇は「才智あふれる騎士」とされており、我々が放浪の騎士に対する作者の態度の違いが読者にも見てとれます。後篇の成功が前篇の人気に負うことが多いことは明らかです。1615年にはすでに前篇は正式に10版を重ね、海賊版は数限りなく、何ヶ国語にも訳され、無数の模倣作品が印刷されていました。

Las diferencias entre la primera y segunda parte las delimitaría en la imaginación de sus personajes. Mientras que en la edición de 1605 es don Quijote el personaje al que la imaginación supera sus propias fantasías, en la edición de 1615 son otros los personajes los encargados de fantasear con mundos maravillosos. Posiblemente la mayor diferencia entre la edición de 1605 y la de 1615 sea en la actitud vital de su principal personaje. Mientras que en la primera aparece como un aventurero soñador, en la segunda aparece como un personaje sumido en la melancolía y el fracaso.

前篇と後篇の違いは、登場人物らの空想の中にひかれた境界線です。1605年の前篇では、夢が空想の世界を超えてしまったドン・キホーテが描かれますが、1615年の続篇では、ドン・キホーテ以外の主要人物が素晴らしい世界を夢想しています。また2編の違いは主人公の態度にも現われています。前篇ではドン・キホーテが夢想する冒険家として登場するのに対し、後篇は挫折と憂鬱にひたる人物として描かれています。

En la primera parte don Quijote es un hidalgo que ha perdido «el juicio» y se le ha disparado la imaginación, pero sin la capacidad de discernir entre cordura y locura en esas imaginaciones. De esta primera parte es de donde surge el concepto de “Quijotismo” como la interpretación de la realidad desde la imaginación perturbada por los libros de caballerías; por consiguiente, la confusión de realidad con la fantasía, de las vivencias con el deseo, y un nivel elevado de autoestima, que nos impide reconocer nuestros defectos, o que nos lleva a apoyar causas perdidas. Esta es una característica que Miguel de Cervantes a través de El Quijote, atribuye al pueblo español y que se ha mantenido hasta nuestros días.

ドン・キホーテは前篇では判断力を失った郷士であり、想像の世界を暴走させながら、正気と狂気を見分けることができません。ここから騎士道の物語に錯乱した想像の世界から現実を語るという「キホーテ論」が生まれます。従って空想と現実の混乱、願望を持った個人的経験、そして非常に高い自尊心が我々の欠点と対峙することを阻み、また途方もない理想を生むことに加担するのです。これがミゲル・デ・セルバンテスがドン・キホーテで描くひとつの特徴です。

En la segunda parte Cervantes, a través de su obra, se ríe de la caballería andante, pero no de la caballerosidad, y pone de relieve las virtudes del auténtico caballero. En la segunda parte Sancho es más culto, llegando incluso a citar alguna



(写真左から) 4.23 Día de libro (director y Anna) 世界本の日(館長と入手杏奈氏) / 4.23 Día de libro Embajadores 世界本の日(大使閣下らと) / 5.18 Títeres (muñecos) 人形劇「キホーテ」/ 5.20 Melancolía (ponente) presentación 「ドン・キホーテの憂鬱」講演会にて

sentencia de Aristóteles; pero en esos casos se advierte que esas sentencias le han llegado por osmosis: se las ha oído a don Quijote, al cura y al barbero de su pueblo, lo cual le da un valor subjetivo. Su mente va de lo simple a lo más sencillo, sin elevarse nunca al plano filosófico. Al final se reconvierte en quien realmente es y deja el gobierno de la Ínsula de Barataria, reconociendo en la cima de su cordura: «Yo no nací para ser gobernador», que en el fondo quería decir, que ni estaba preparado para serlo, ni le gustaba ejercerlo.

後篇でセルバンテスは、作品を通じて放浪の騎士道を嘲笑しています。けれどもそれは騎士道に対してではなく、真の騎士が持つ美德を際立たせているのです。後篇でサンチョは教養ある人物として描かれ、アリストテレスのような哲学的判決を下すに至っています。けれどもこれらの判決は、自身の村のドン・キホーテや、司祭、理髪師から聞いた話に主観を加えたものであることに気づきます。サンチョの頭はさらに簡素なものになり、哲学的側面が高まったというわけではありません。最後には、本来の自分に帰り、インストラ・バラタリアの総督を辞め、正気に戻ります。「総督は自分の性分じゃない」と実のところ言いたかったのでしょう。そのための教育を受けてもいないし、なりたくもなかった、と。

Con estas reflexiones pretendo ayudar a comprender la importancia de esta obra y, por consiguiente, la infinidad de actos para conmemorar el cuarto centenario de la publicación de la segunda parte de El Quijote, que se han realizado no solamente en España, sino en los cinco continentes.

以上の見解が本作品の重要性への理解の一助になればと思います。ドン・キホーテの後篇出版400周年記念を記念する催しが数多く行われました。それはスペインだけでなく、世界中で行われたのです。

El Instituto Cervantes de Tokio, no podía permanecer ajeno a esta conmemoración y dedicamos el segundo cuatrimestre del año a la celebración de este centenario realizando numerosas y variadas actividades culturales que abarcaron diferentes géneros artísticos. Así, destacaría la lectura continuada, a cargo de los embajadores de España y los países latinoamericanos, del final de la segunda parte de El Quijote durante las celebraciones del Día del Libro el pasado 23 de abril, y el ciclo de cine “Prismas de El Quijote”, dentro del cual proyectamos las siguientes películas: “El caballero don Quijote” de Manuel Gutiérrez Aragón, “Don Quijote de la Mancha” de Rafael Gil, “Quijote, cabalgando

por el cine” de Ascen Marchena y Javier Rioyo, “Don Quijote de la Mancha” de Cruz Delgado y “Las gallinas de Cervantes” de Alfredo Castellón. Además acogimos el espectáculo de títeres de la afamada compañía Bambalina titulado “Quijote”, la conferencia “La melancolía en El Quijote: el alma española en tiempos oscuros” por los científicos español y japonés Carlos Thiebaut y Yu Abe y para finalizar con esta pléyade de actividades el concierto de guitarra “El ingenioso hidalgo Don Quijote de la Mancha”, interpretado por Francisco Bernier, catedrático de guitarra del Conservatorio Superior de Música de Sevilla. Todo un espectáculo multicolor para conmemorar el cuarto centenario de una de las obras de mayor impacto universal.

セルバンテス文化センター東京においても、例外なく今回の記念イベントが2015年1月から4月まで、多岐に渡るジャンルにおいて開催されました。まずはスペイン大使、ラテンアメリカ各国大使ご参加のもと、後篇の最終章を読む朗読マラソンが4月23日世界本の日を記念して行われ、ドン・キホーテの視点映画上映会ではマヌエル・グティエレス・アラゴン監督の「エル・カバジェロ・ドン・キホーテ」、ラファエル・ヒル監督の「ドン・キホーテ・デ・ラマンチャ」、アスセン・マルチェナとハビエル・リオジョ監督による「キホーテ 映画に跨って」、クルス・デルガド監督の「ドン・キホーテ・デ・ラ・マンチャ」、アルフレド・カステジョン監督の「ラス・ガジーナス・デ・セルバンテス」が上映されました。さらに著名な人形劇のバンバリーナ・カンパニーによる公演「ドン・キホーテ」、「ドン・キホーテの憂鬱: 暗黒時代のスペインの心」では心理学・精神医学の観点からカルロス・ティボウ教授(スペイン)と阿部裕先生(日本)の講演会が開催されました。記念イベントのフィナーレには、セビリアの高等音楽院教授・ギタリストのフランシスコ・ベルニエールによるコンサート「ラ・マンチャの騎士、ドン・キホーテ」で幕を閉じました。このように世界に影響を与えた作品出版の400周年を記念するシリーズは色彩豊かに行われました。

En el siguiente link podrán encontrar fotos de todas estas actividades mencionadas.

これらのイベントの写真は以下のリンクにてご覧いただけます。

https://www.flickr.com/photos/instituto_cervantes_tokio/albums

Fotos: Carolina Yélamos 写真: カロリナ イェラモス
Traducción: Miwa Okubo 翻訳: 大窪美和



Antonio Gil de Carrasco
Nació en Granada en 1954. Escritor y periodista. Doctor en Letras, Licenciado en Filosofía y Letras, Diplomado en Educación General Básica. Actual Director del Instituto Cervantes de Tokio.

アントニオ・ヒル・デ・カラスコ
1954年グラナダ生まれ。作家、ジャーナリスト。文学博士。哲文学部卒業。教職課程履修。セルバンテス文化センター 東京(日本)現館長。



本場スペインのバル街にある隠れ家レストランを再現した異国情緒溢れる店内で
本格スペイン料理と直輸入ワインを気軽にお楽しみいただけます



スペイン食堂 マルイ ティエラ

〒662-0911
兵庫県西宮市池田町9-29
TEL/FAX.0798-78-2948
営業時間：月～金 / 17:00～24:00
土・日・祝 / 16:00～24:00
URL : <http://www.marytierra.jp>



JR西宮駅南口を出て
右へまっすぐ徒歩1分。
突き当たりの建物です。



スペイン食堂 ラ・オリーバ

〒106-0032
東京都港区六本木7-3-14
TEL/FAX.03-6438-9897
URL : www.la-oliva.com



オンラインショップ

ラテン食材・わくわくマルシェ



Marché Latin

マルシェ ラタン

毎日の食卓に スペインを

こだわりのスペイン食材を
ご家庭でもお楽しみいただける
オンラインストアです。

スペインフェア2015 ご提供ワインもございます



www.marchelatin.com



初心者歓迎！

吉川二郎ギター教室

コンサートフラメンコギター
クラシックギター
ギタルパ

花屋敷教室(宝塚市) 天満橋教室(大阪市)
東京教室(月1回) 静岡教室(月1回)
ギター・ギタルパサークル富士(富士市)

吉川二郎11枚目のCD

『麗しのグラナダ』

好評発売中！



お問い合わせ
お申込みはこちら

TEL&FAX:
072-793-8684

E-mail:
jirolito@vmail.plala.or.jp



ギタルパ (guitarpa) について

ギタルパ (guitarpa) は吉川二郎の発案によるギター (guitarra) とハーブ (arpa) が合体したまったく新しい楽器で、ギターの手軽さとハーブの優雅な響きを持っています。
(特許第 3385518 号)

詳しくはホームページで

吉川二郎

検索

入場
無料
FREE

SPAIN FAIR in Nishinomiya City Frente Hall

スペインフェア

2015 

2015.11.14 (sat)

時間: 12:00 ~ 19:30 (11:30 OPEN)

会場: 西宮市フレンテホール

JR西宮駅南出口から徒歩1分 / 阪神西宮駅 市役所口から徒歩15分



¡Siente España en Japón!

今年で5年目を迎えるスペインフェア
当日は楽しいイベントが盛りだくさん!

◆ フラメンコ・ ギターショー

出演予定 (あいうえお順)

石川敬子 フラメンコ教室
コンサートフラメンコギタリスト 吉川二郎
フラメンコスタジオMIGUELON
FLAMENCO ESTUDIO LUISA
YUNO ESTUDIO FLAMENCO

◆ キッズルーム

スペイン語・日本語で絵本読み聞かせ
ミニスペイン語レッスン
ピアノコンサート
「紺谷 志野・原田 寛子デュオコンサート」

◆ 巨大パエリア

今年も大きな鍋でパエリアを作ります!
その他ビールやワインなど、
スペインの各種飲み物をご用意!

◆ 講演会

出演予定 (あいうえお順)

杉本嘉孝「70歳からのサンティアゴ巡礼」
谷村圭治「スペイン留学 学校紹介 Enforex / don Quijote」
スペイン料理研究家 渡辺万里「21世紀のスペイン料理とは?」
Alberto Fernández García「パデルについて」
Montserrat Sanz Yagüe「セゴビア紹介」

◆ その他

サンティアゴ巡礼写真展
スペインタイルワークショップ
スペイン雑貨・書籍の販売
スペイン往復航空券が当たる抽選会!

※スケジュール・イベント内容は予告なく変更する場合があります。予めご了承下さい。

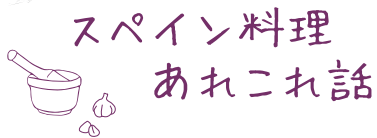
問合せ先: 有限会社ADELANTE
TEL: 06-6346-5554 HP: www.spainfair.jp

スペイン留学
無料カウンセリングも
随時実施!

当日は人気語学学校
Enforex・don Quijote
日本人スタッフが来日!
 
www.spainryugaku.jp



パンとチーズとワインが"あれば"



vol.1 Tortilla

文・写真 渡辺万里



「Pan, queso y vino」。あるいは「Jamón, queso y vino」「Miel y queso, con pan」。スペインの街道を旅していると見かける、道端の店やバルの昔ながらの看板に書かれている宣伝文句です。

「おいしいパンとチーズとワイン、あります」「うちのバルには、ハムとチーズとワインが待ってるよ!」「このあたり名産の蜂蜜とチーズ、パンを添えて試食はいかが?」……。

どれも、思わず車を止めたくなるような魅力的な誘いだと思いませんか? 複雑な調理やモダンな盛りつけなんて必要ない。美味しいチーズかハムとパンさえあれば、ワインは美味しく飲める。だって、それがスペインの食の原点なのですから。

世界中のグルメの注目を集めたスーパーシェフのフェラン・アドリアは、口癖のようにこう言っていました。

「スペインでは、ハモン・イベリコとワインがあったら、それだけで美味しく食べられる。」

ではいったい料理人の使命とは何なのか、というのはまた別のお話になるのですが…。とりえず、スーパーシェフのフェランでさえも、1番の好物はハモンやパタタス・フリータス(ポテトフライ)やウエボス・フリータス(目玉焼き)だということを、私はしっかりとこの目で見てきました。

このシリーズでは、そんなシンプルな昔ながらのスペインの食の一端を、皆さんと一緒に楽しみたいと思います。時々、スペインの食をめぐるエピソードやそもそも話を、薬味代わりに添えて…。



☆人気ナンバーワンの「おふくろの味」、トルティージャ

スペインに「お袋の味」というものがあるとしたら、それは疑う余地なくトルティージャ、つまりジャガイモのオムレツではないかと思っています。

さる清涼飲料水メーカーが夏に行う「人気料理ベストテン」というアンケートでも、毎年のようにダントツのトップはトルティージャです。もつとごちそうに思えるステーキや高級感のあるシーフードや、日本人の大好きなパエリアをおしのけての1位です。

さてトルティージャとは、正確にはどんな風に定義できるのでしょうか？ジャガイモを主な中身として、丸くフライパンの形に焼いたオムレツ、というところでしょうか。だからこそ、スペインに行ったことのある方ならご存知のように、

家庭でもバルでも、ただ「トルティージャ」と言えば、ジャガイモ入りと断然なくてもジャガイモのトルティージャを意味します。

逆にそれ以外のトルティージャ、違う中身のトルティージャは「トルティージャ・パイサーナ（トマト他の複数の野菜入り）」「トルティージャ・デ・バカラオ（干ドラ入り）」などとはつきり指定する必要があります。つまり「ジャガイモ」は、スペインのトルティージャの大前提なのです。

ジャガイモ以外の中身は、少量の玉ねぎ、場合によって少量のピーマンという人もいますが、このあたりからトルティージャの定義は、1人1人の好みの世界へと細分化されていきます。というのも、この料理がスペイン人にとって究極の家庭料理、つまりは「お袋の味」だからです。

その証拠に、アンケートの「誰の作るトルティージャが1番美味しいと思うか？」という質問

の答えは「母親」「配偶者」「自分自身」となっています。つまりは、お母さんが子供の頃から作ってくれたトルティージャが最高、それを受け継いで作る奥さんや自分自身のものが最高という、紛れもない家庭料理なのです。

私にとっても、トルティージャは常にスペインの家庭料理の象徴でした。最初に下宿した家のお母さんは料理上手で、つつましい家計のなかで美味しい料理を色々作ってくれましたが、私が学校に行く時毎日のように持たせてくれるお弁当が、このトルティージャのボカディージョ（サンドウィッチ）でした。だから私にとって「お袋の味」は、このファニータのトルティージャです。

オリーブ油を吸ってしつとりと甘いジャガイモ。ギリギリの半熟状態で、バゲットパンにぎゅっと挟まれると少しずつ液体が出て来る卵。その卵液がしみ込み、固いパンを美味しくしてく

れる。このボカディージョを水で流し込む、あるいはコーラで食べるのが、私の日課でした。

出来立ても美味しい。冷めても美味しい。卵とジャガイモという、どんな質素な家庭でも買える安価な材料で出来る。これこそ、貧しくても心豊かなスペイン庶民の料理だな、と私は今でもありがたくファニータ母さんのお弁当を思い出します。

そしてつい先日、マドリードで。行きつけのバルで「焼きたてだから、食べて」と出してくれた一切れのトルティージャを口に入れた私は、ショックを受けました。外はこんがり。中はとろふわ。ジャガイモの甘さ。適度の塩加減。有名でもなんでもないバルの料理人のトルティージャの美味しかったこと！

自分の作るトルティージャもかなり美味しくなってきた、などといささか慢心していた私の自信は、粉々に砕けました。やはりスペインに生

まれ育った人の作る「お袋の味」にはかないません。まだまだこれからも、常に初心にかえってファニータのトルティージャを目指して練習しなくてはいけないな、と改めて思っているこの頃です。

☆トルティージャが半熟だと、物語もハッピーエンド

アンケートには「美味しいトルティージャとは、どういう出来なのか」という質問も登場します。美味しさを決めるには、中身だけでなく焼き加減も大事なポイントになるからです。そこで登場するのが、「ポコ・エッチャ」という言葉。これは少ししか加熱していないという意味で、言い換えれば「焼きすぎている」「半熟の」ということになります。これが大部分のスペイン人の考える美味しいトルティージャの条件なので

す。考えてみたら、卵料理というのは、フランスのオムレツも日本の卵焼きも、「焼きすぎている」半熟の状態がベストですね。

この半熟のオムレツをめぐる、古いお話をしましょう。カステージャ・イ・レオン地方のパレンシア県にあるメネセス・デ・カンボという小さな村に伝わる伝説です。ただし舞台は9世紀なので、まだジャガイモはヨーロッパに登場していません。つまりこれは、卵だけのシンプルなトルティージャのお話です。

……そのころレオン王国では、100人の乙女を選んでモーロ（アラブ人）の王に献上することになっていた。オールドーニョ王の娘である王女もその1人に選ばれたが、そんな運命を嫌って宮廷から逃げ出す。王女がたまたま行き着いたのがメネセス・デ・カンボの村で、この村の豪族テージョ氏の屋敷で、身分を隠したまま下働きの娘として暮らすことになる。



【写真左から】典型的な「お母さんのトルティージャ」 / 具をはさんでサンドウィッチ風の新タイプ / お弁当のボカディージョにも最適

時がたち、メネセスの村にたまたま、王女の父であるレオン王が訪れることになった。テージョ氏の館で食事をする王に、王女は父王の好物であるマラサーダ(半熟のトルティージャ)に王女である証の指輪を入れて作り、食卓に出す。王は好物のトルティージャを食べ、そのなかに王家の指輪を見つけて娘からのメッセージを読み取り、逃げた娘を許すとともに、テージョ氏の長男に嫁がせる約束をする。このときからテージョ氏の紋章には、6個のトルティージャが刻まれることになった……。

この伝説は、ロペ・デ・ベガの「ロス・テージョス・デ・メネセス」という芝居の題材になり、近年この村では、8月に「マラサーダの日」と名付けたイベントを行うようになりました。マラサーダとはマル・アサーダ、つまりよく焼けていないという意味で、「生焼けトルティージャ祭り」ということになりますね。事程左様に、トルティー

ジャは焼き過ぎてはいけない、というお話です。

☆選り取りみどり、トルティージャのルーツをめぐるエピソード

トルティージャは、スペインにしては珍しく「いつ頃出来た料理か」「どのような起源があるのか」といったデータやエピソードが豊富にある料理です。

ジャガイモ入りトルティージャは、いつ頃から存在したのでしょうか？ジャガイモがアメリカ大陸からスペインへと渡って来た16世紀より後であることだけは、間違いないですね。

最近までトルティージャについて記されたものとも古い文献とされてきたのは、1817年のナバラ地方の文書でした。ナバラの山岳地帯の農民たちの貧しい食生活について説明しているなかで、このような1節が出てくるのです。

「2個か3個の卵で、5人から6人のためのトルティージャが作られる。何故なら、このあたりの主婦たちは、少ない卵にジャガイモやパンくずを混ぜてトルティージャを大きく分厚くするという秘訣を知っているからだ……。」

あるいは、「トルティージャ由来話」とでもいうべき、大同小異のいくつかのエピソードも、ナバラ地方を舞台にしています。時は、第1次カルリスタ戦争。バスクからナバラにかけての農村地帯で、1833年から1840年にかけて繰り広げられた内戦です。

カルロス党のスマラカレギ將軍が、兵隊たちのために手早く簡単に栄養のある料理としてジャガイモのトルティージャを発明したという説。あるいは軍隊が駐屯したナバラの村で食糧が尽きてしまい、困った農家の主婦が最後に残った卵とジャガイモでオムレツを作ったのが兵隊たちに人気があつて、たちまち普及したという

説……。

戦時の食糧不足とジャガイモを結びつけたこれらのエピソードには、なかなか説得力があります。將軍の介在はともかくとして、この時期のナバラ地方でジャガイモのトルティージャが定着していったことは十分に納得できます。

ただし、最近「トルティージャの起源はエストウレマドゥーラ地方のビジャヌエバ・デ・ラ・セレナという村だ」という学説が浮上してきています。この説によれば、ナバラで言われてきた時期より20年以上前に、エストウレマドゥーラの資料にトルティージャに関する記述があるというのです。エストウレマドゥーラは貧しい時代を長く経てきた内陸の地方ですから、この説も説得力があります。いずれにしても、「卵とジャガイモ」のコンビがトルティージャとなって歴史に登場するのは、18世紀の終わりから19世紀初頭ということになるでしょう。

ジャガイモがアメリカ大陸から運ばれてきてから約2世紀。修道院や施療院の畑に始まり、食糧不足のときに役立つ食材として次第に存在を知らしめてきたこの根菜は、トルティージャという形をとることによって初めて、スペイン人の食卓に喜んで迎えられる「美味しい料理の食材」としての歴史を歩み始めたのです。

21世紀を迎えた今、スペイン人に好まれる家庭料理のトップの座にあるトルティージャの始まりが、「貧しさゆえに卵の量を増やすための工夫」だったと知っている人は、スペインでも少ないかもしれませんね。



【写真上段】中世を再現して行われる「マラサーダ」の祭り【中段】祭りのポスターと、トルティージャ入りの紋章 【下段】各地のトルティージャコンクールの様子。優勝者に女性が多いのも特徴のひとつ



渡辺万里 わたなべまり / Mari Watanabe

学習院大学法学部政治学科卒。1975年よりスペインで食文化史の研究に取り組みと同時に、スペイン料理界最前線での取材に従事する。1989年、東京・目白に『スペイン料理文化アカデミー』を開設。さらに各地での講演、執筆などを通してスペイン文化の紹介に携わっている。早稲田大学グローバルエデュケーション非常勤講師。著書に「エル・プジエラ」(日本文芸社)、「修道院のうずら料理」(現代書館)、「スペインの電から」(現代書館)など。

生徒募集
中
お気軽に
ご連絡ください

<スペイン料理文化アカデミー>
スペイン料理クラス/スペインワインを楽しむ会/フラメンコ・ギタークラスなど開催
〒171-0031 東京都豊島区目白4-23-2 TEL: 03-3953-8414
HP: www.academia-spain.com



半熟とろふわの
トルティージャ
Tortilla de patatas

🌿 材料 (20センチのフライパン分)

オリーブオイル	1/4カップ以上
ジャガイモ	およそ中2個
玉ねぎ	1/2個
卵	6個
塩	小さじ1 (好みで増やしてもよい)

間違いなく美味しくできる
トルティージャのレシピ、大公開！

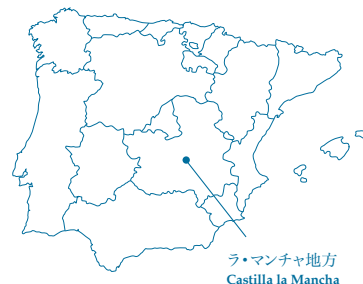
さて、この記事を読んで、
美味しいトルティージャを今すぐ食べたくなった
皆さんのために、簡単で確実に美味しくできる
レシピをご紹介します。
オリーブオイルは、たっぷり使えば使うほど、
手早く美味しくできますよ！

🌿 作り方

1. フライパンにオイルを入れる。
2. ジャガイモの皮を剥いて薄切りにし、切ったものからフライパンに入れていく。
ジャガイモの量は、フライパンの6分目くらいまで。
3. 弱めの火で熱し始める。薄めにスライスした玉ねぎを加える。
4. オイルが足りないようなら足して、弱火でじっくりと煮る。
そのあいだに、ボウルに卵を軽く溶いて塩をしておく。
5. 木ベラで潰れるくらいまでジャガイモが柔らかくなったら、軽く油を切って
卵のボウルに加え、潰すようにして混ぜる。
6. 火に戻したフライパンが十分に熱くなっているのを確認したら、卵を流し込む。
木ベラで数回軽く混ぜ、あとはフライパンをゆずって卵が焦げ付かないように注意しながら焼く。
7. フライパンと大きめの皿を使って、まだ柔らかい卵をひっくり返す。
フライパンに戻したら、裏面も少しこんがり焼く。
8. 中心部分ができるだけ半熟状態のうちに、火から下ろして皿に移す。



【写真左から】たっぷりのオリーブオイルで / 卵が柔らかいうちに裏返す準備を / 焼いて数分したら食べ頃です

ラ・マンチャ地方
Castilla la Mancha

「Uvas y queso saben a beso. (ブドウとチーズはキスの味)」という諺にもあるように、この組み合わせは絶妙の味わいをもたらす。ブドウは、ワインを作るために全国的に栽培されているし、もちろんそのままでも食べる。チーズ(ケソ)は、生ハムとならんでスペインでは欠かせない大昔からの加工食品である。スペインへ行ったときには、必ず食べるし、日本へは毎回もって帰る。その種類はといえば、もちろんケソ・マンチェーゴ(ラマンチャ・チーズ)である。ちょっと固めだが、羊乳独特の香りと深い味わいは、何ものにもかえがたい。

今も、伝統に基づいた製法で、ケソ・マンチェーゴを作っている工場を見学した。場所は、ラ・マンチャ地方の真ん中、マドリッドから国道4号線を100キロほどアンダルシアへ向かい、左へそれて1キロばかり未舗装の並木道を行った先にある。一見農場のような外観の工場が見えてくる。会社の名前は「フィンカ・ラ・プルデンシアーナ」。

古くからラ・マンチャ地方では、麦の栽培と牧畜がさかんだった。麦の収穫が終わったあとに生える雑草を羊が食べるというサイクルが続いていた。今も、かなりの地域でこのサイクルは維持されている。

「フィンカ・ラ・プルデンシアーナ」では、ケソを作るために同じ敷地で1000頭以上の羊を飼育している。種類は、毛長が短く、腹部に毛がない、暑さに強いマンチェガ種と呼ばれる羊である。この種類の羊のものしかケソ・マンチェーゴとはいえない。

製法は、搾乳して集めた羊乳を5℃に保たれたタンクで1日保存したあと、凝乳酵素を入れて温める。そのあと凝固した部分だけを集めて型に流し込み、圧縮機に4〜5時間かけ、それを塩水に約1日浸けたあと取り出し、低温倉庫で乾燥させ、熟成させる。この工場では、最低2ヶ月間は熟成させる。2〜5ヶ月のものをセミクラード、6〜12ヶ月のものをクラードと呼び、クラードの方がより強い味になる。

昔は、カヤで編んだムシロを使って水分を抜いていたので、編み目の模様がついていていたが、今は型に編み目がつけてあり、ケソ・マンチェーゴのトレードマークにもなっている。

工場のまわりには広大な牧草地がある。ドン・キホーテとサンチョ・パンサが歩いていてもおかしくない風景のなかで、羊たちがひたすら草を食んでいた。

1	2
	3

1, 3. ひたすら草を食べ続けるマンチェゴ種の羊たち
2. 「フィンカ・ラ・プルデンシアーナ」へ続く並木道





1	3	4
2	5	
6	7	

1. 羊乳に凝乳酵素を入れて、攪拌する。
2. 固まり具合を見る。
3. 固まった部分を取り出す。
4. 型につめる。
5. 型から出され熟成用のケースに入れる。
6. 熟成中のケースが積み上げられている
7. 羊舎に入ると、羊たちがいっせいにこちらに注目する。



篠田有史 しのだゆうじ / Yuji Shinoda

1954年岐阜県生まれ。フォトジャーナリスト。24歳の時の1年間世界一周の旅で、アンダルシアの小さな町Lojaと出会い、以後、ほぼ毎年通う。その他、スペイン語圏を中心に、庶民の生活を撮り続けている。
 【写真展】スペインの小さな町で(富士フォトサロン)、遠い微笑・ニカラグア(//)など。
 【本】「ドン・キホーテの世界をゆく」(論創社)「コロンブスの夢」(新潮社)
 「リゴベルタの村」(講談社)などの写真を担当。



スペイン&中南米への留学相談、手続き代行無料サービスのスペイン留学.jp

スペイン留学ガイド



www.spainryugaku.jp

地方ごとに異なる特色を持った魅力溢れる国、スペイン♪

あなたはスペインと言ったら何を思い描きますか？

フラメンコ、サッカー、闘牛、白い家、サグラダ・ファミリアなど...

お気に入りの街が見つければ、より充実した留学生活になることでしょう。

留学準備の第一歩は、学校を探すことから始まります。

ここでは、代表的な留学先をいくつか紹介していますが、

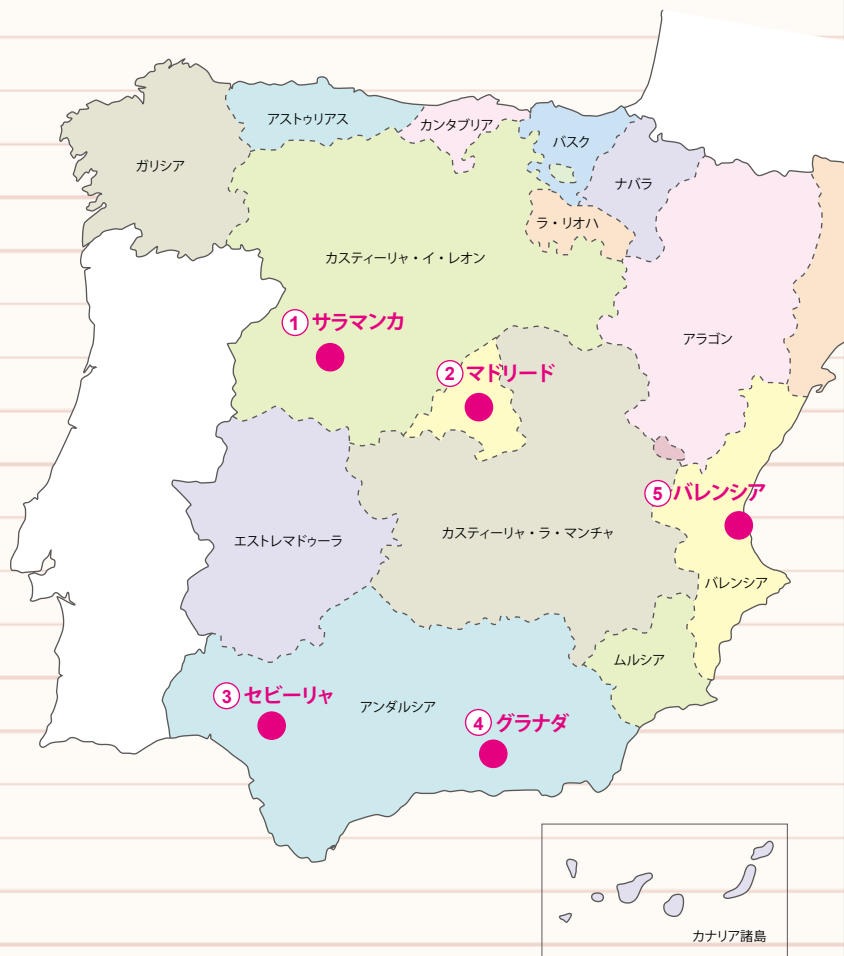
この他にも多くの学校をご用意しております。

まずは、電話やメールでご相談下さい。

スペイン留学.jp では、カウンセリングを行い、

一人一人のご希望に合った学校を提案いたします！

※料金は 2015 年度の料金を参考に作成しております（2015 年 11 月現在 / 1€=135円で計算）。実際に渡航される際には料金が改訂されている事がありますので、予めご了承くださいませ。なお入学金や宿泊先幹旋料、夏期料金などが加算される学校もございますので、詳細につきましてはお問合せ下さい。



① サラマンカ Salamanca

1218 年に創立されたスペイン最古の大学がある学生の街。カatedral、大学、貝の家、マヨール広場など美しい建物が多く、旧市街全体が世界遺産に登録されています。



<コレヒオデリベス>

	2 週間あたり	24 週間あたり
一般集中スペイン語コース (20 時間 / 週)	346 € / 46,710 円	2.880 € / 388,800 円
ホームステイ (個人部屋 / 2 食付)	280 € / 37,800 円	3.360 € / 453,600 円
共同アパート (個人部屋 / 食事なし)	210 € / 28,350 円	1.860 € / 251,100 円

② マドリッド Madrid

プラド美術館や王宮など見所いっぱいの活気溢れるスペインの首都。休日にはショッピングやバル巡り、アート観賞を楽しむことができます。スペインの中心に位置するマドリッドは他の都市へのアクセスも良好です。



<エンフォレックス マドリッド校>

	1 週間あたり	24 週間あたり
一般集中スペイン語コース (20 時間 / 週)	155 € / 20,925 円	3.240 € / 437,400 円
ホームステイ (個人部屋 / 2 食付)	229 € / 30,915 円	5.496 € / 741,960 円
共同アパート (個人部屋 / 食事なし)	175 € / 23,625 円	3.360 € / 453,600 円

③ セビーリャ Sevilla

太陽と青い空が似合うスペイン南部、アンダルシア地方にある街。バスや電車で少し足を延ばすと、まるで絵ハガキのような白い村が点在し、陽気でのんびりとした空気を肌で感じることができます。



<クリック IH セビーリャ校>

	1 週間あたり	24 週間あたり
一般集中スペイン語コース (20 時間 / 週)	180 € / 24,300 円	3.600 € / 486,000 円
ホームステイ (個人部屋 / 2 食付)	160 € / 21,600 円	3.840 € / 518,400 円
共同アパート (個人部屋 / 食事なし)	100 € / 13,500 円	2.400 € / 324,000 円

スペイン留学.jpでは、スペイン各地の大学とも提携しています。
大学付属の語学コースに興味のある方はぜひ一度ご相談下さい。

<提携先>

大学	地域
バリアドリッド大学	カスティーリャ・イ・レオン州
サンティアゴ・デ・コンポステーラ大学	ガリシア州
サラゴサ大学	アラゴン州
アリカンテ大学	バレンシア州
マラガ大学	アンダルシア州
アルカラ大学	マドリッド州

例) サラゴサ大学

通年コース (9月中旬～5月中旬 / 760 時間) 1,340€
ホームステイ (個人部屋・3 食付 / 1 ヶ月 600€) 4,800€

6,140€ / 828,900 円

※上記金額は 2015 年度コースのスケジュール・料金です。
2016 年度スケジュール・料金は未定です。

大学の語学コースは、
コース日程が決まっていることが多いので、
まずはお気軽にご相談下さい！



▶▶ ご出発までの流れ

- 1 留学カウンセリング、お見送り
「どの街にしよう?」「費用はどれくらい?」「何から準備すればいいの?」
など、漠然とイメージされている留学プランや、目的・期間・ご予算など、
まずはメールやお電話でお気軽にご相談下さい。
- 2 具体的に学校、コース、滞在スタイルなどのプログラムが
決まれば、留学手続代行申込書を提出
- 3 入学手続き開始
- 4 航空券や保険、国際キャッシュカードなどの情報収集
- 5 ビザが必要な方は、申請に必要な書類を集め、
在日スペイン大使館へ提出
90 日以内の留学なら学生ビザは不要ですが、91 日以上留学には学
生ビザが必要です。短期学生ビザ (91 日以上 180 日以内) 取得の場合は、
ご出発の約 2 ヶ月前、長期学生ビザ (181 日以上) 取得の場合は、ご
出発の約 3 ヶ月前に時間に余裕を持って提出して下さい。
- 6 留学費、海外送金手数料のご入金
- 7 航空券、海外保険、学生ビザなど必要なものが揃えば、
いよいよご出発！

<当サポートサービスの範囲>

- ・選択された学校への出願サポート
- ・サポート依頼を頂いた学校が手配するホームステイ、学生寮、
共同アパートなどの宿泊先申込手続 (混雑状況によりご希望に添えない
場合がございますので、事前にご確認下さい)
- ・留学費用の海外送金
- ・空港出迎えサービスなど、各種オプションサービスの依頼代行
※未成年の方は、必ず保護者の方に同意を頂いた上、お申込み下さい
※パスポートやビザの申請、航空券・海外保険の手配などは含まれません
ので各自でご準備下さい
※海外送金手数料 (6,500 円) はご負担となります

⑥ バルセロナ Barcelona

スペインの中でも独自の歴史と文化
を育んできたカタルーニャの都。ガ
ウディやダリなど数多くの著名人を輩
出。「芸術の街バルセロナ」には、
今も街のあちこちに多くの芸術作品
が残されています。



<ドン・キホーテ バルセロナ校>

	1 週間あたり	24 週間あたり
一般集中スペイン語コース (25 時間 / 週)	199€ / 26,865 円	3,576€ / 482,760 円
ホームステイ (個人部屋 / 2 食付)	234€ / 31,590 円	5,616€ / 758,160 円
共同アパート (個人部屋 / 食事なし)	175€ / 23,625 円	3,360€ / 453,600 円

カタルーニャ

⑥ バルセロナ

⑤ バレンシア Valencia

「火祭り」とパエージャ発祥の地と
して有名な、スペイン第 3 の都市バ
レンシア。地中海性の温暖な気候で、
ビーチリゾートとしても知られています。



<エスパニョーレ・インターナショナルハウス・バレンシア>

	1 週間あたり	24 週間あたり
一般集中スペイン語コース (20 時間 / 週)	160€ / 21,600 円	3,120€ / 421,200 円
ホームステイ (個人部屋 / 2 食付)	185€ / 24,975 円	4,440€ / 599,400 円
共同アパート (個人部屋 / 食事なし)	110€ / 14,850 円	2,640€ / 356,400 円

バレーアレス諸島

④ グラナダ Granada

アルハンブラ宮殿があることで、世
界的に有名なグラナダは、アラブ文
化の名残をとどめる古都。都市の規
模はそれほど大きくありませんが、
落ち着いた美しい町並みが素晴らし
く、訪れる価値があります。



<ドン・キホーテ グラナダ校>

	1 週間あたり	24 週間あたり
一般集中スペイン語コース (25 時間 / 週)	165€ / 22,275 円	3,336€ / 450,360 円
ホームステイ (個人部屋 / 2 食付)	154€ / 20,790 円	3,696€ / 498,960 円
共同アパート (個人部屋 / 食事なし)	130€ / 17,550 円	2,520€ / 340,200 円

<プロフィール>

R. Fさん (21 歳女性)

滞在都市：バジャドリッド

滞在期間：2014 年 9 月～2015 年 5 月

バジャドリッド大学に留学して

私は、大学でスペイン語を専攻していて、入学当初から留学に興味がありました。スペイン語を学ぶうちにその面白さに夢中になり、せっかくなら話せるようになって現地で友達をつくりたいと思い、8 か月間の長期留学を決意しました。そこで私が選んだのがスペインのバジャドリッド大学です。バジャドリッドでは、スペインの中でも特に美しいスペイン語が話されていると聞き、同じ大学の先輩にも勧められました。

留学の準備では、ADELANTE さんに大変お世話になりました。海外旅行すらしたことがなかったので、パスポートやビザの取得など、わからないことが多くありましたが質問にも丁寧に應對していただき、感謝しています。

バジャドリッドでの生活はとても楽しく、充実したものになりました。決して華やかな街ではありませんが、治安が良く落ち着いた雰囲気の中で勉強に専念することができました。学校の先生方は皆とても個性的で、親切で、スペインの文化、歴史、地理、文学、オールコミュニケーションなど幅広い授業を受講できました。午後には無料のアクティビティーで映画を見たり、美術館などに行ったりしました。休日のアクティビティーで色々な場所に遠足に行けるところも魅力です。色々な国籍の友達ができ、よく一緒にバルに出かけてお喋りしたことも素敵な思い出です。

寮には個室があり、キッチン、お風呂、トイレを 2 人で共有していました。週に 1 度清掃があるのでとても清潔で過ごしやすいです。

私は留学をして語学力が伸びたことはもちろんですが、度胸がついたことが 1 番成長したことだと思います。そして、素敵な先生方や友達とかけがえない思い出をたくさん作ることが出来ました。この経験は私の一生の宝物です。



R・F さんから
メッセージ

これから留学される方へ

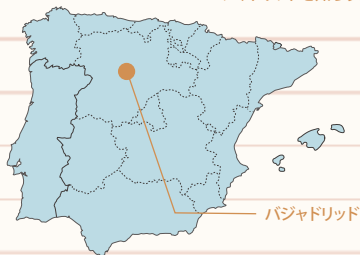
留学はきっと、人生の中で忘れられない経験となると思います。言葉や文化の違いを肌で感じ、大変なことや辛いと感じることもあると思いますが、それ以上に世界中の新しいひとやものと出会う喜びは大きいです。その経験は自分の視野やこれからの人生の選択肢をぐっと広げてくれるに違いありません。目標や夢を持って、実りのある留学生活を送ってくださいね。応援しています。



バジャドリッドってどんな街?

Valladolid

バジャドリッドを知らう!



カスティーリャ・イ・レオン州の州都バジャドリッドはかつてスペインの首都であったことでも知られています。マドリッドからは新幹線 AVE でわずか 1 時間ほど。訛りのない綺麗なスペイン語を話すことでも知られ、留学には最適の場所です。

面積	197.31 km ²	人口	約 315,000 人
平均気温	夏 (8 月) : 28 度 冬 (1 月) : 7 度		

Turismo 観光



写真左: マジョール広場 / 写真右 (上から): 旧市街の街並み、国立彫刻美術館、サンベニト修道院



バジャドリッドはスペインの歴史で重要な役割を果たしてきた都市と言えます。古くはカスティーリャ王国の王女イサベルとアラゴン王国の王子フェルナンドが婚礼を行った都市であり、新大陸を発見したコロンブスが亡くなった場所でもあります。また「ドン・キホーテ」の作者セルバンテスが 56 歳から 4 年間過ごした家があることでも有名です。学問の街としても知られるバジャドリッドには、1346 年に設立されたバジャドリッド大学があり多くの若者で賑わっています。

街には、イサベル様式を代表する建造物であるサン・パブロ教会やカテドラル、また現代アートの美術館である "PATIO HERRERIANO" や国立彫刻美術館など見所満載。セルバンテスが生前過ごした家も公開されています。

学校情報

Información de las escuelas

※料金は 1€=135 円で計算した 2015 年 11 月のものです。
入学金や宿泊先給付料、夏期料金等が加算される学校もございますので、詳細につきましてはお問合せ下さい。

バジャドリッド大学 Universidad de Valladolid

※の印のあるコースは 2016 年度内容未定のため
2015 年度のスケジュール・料金を記載しています

滞在方法: ホームステイ (3 食付き・1 人部屋) 1 週 217€ ※

コース	期間・レッスン時間	レベル	料金
Curso de Lengua y Cultura Españolas y de Estudios Hispánicos スペイン語・文化コース ※	10 月～5 月 (28 週間 / 週 15 時間) ※	A1～C1	2.975€ / 401,625 円
Curso de Lengua y Cultura Españolas スペイン語・文化コース ※	10 月～12 月 (11 週間 / 週 15 時間) ※	A1～C1	1.315€ / 177,525 円
Español todo el año (1 月～5 月) スペイン語コース	2016 年 1 月 11 日スタート 2016 年 3 月 7 日スタート 1 週間単位のお申込 / 週 15 時間	A1～B1	1 週 120€ / 16,200 円
Español todo el año (10 月～11 月) スペイン語コース ※	10 月～11 月 1 週間単位のお申込 / 週 20 時間 ※	A1～B1	1 週 160€ / 21,600 円
Español en Verano サマーコース	2016 年 5 月 26 日、7 月 4 日、 8 月 1 日、9 月 5 日スタート 最大 4 週間 (2 週間から申込可) 週 20 時間	A1～C1	4 週 840€ / 113,400 円 3 週 666€ / 89,910 円 2 週 466€ / 62,910 円

大学併設の語学コースへの留学 おすすめポイント

- ・キャンパスライフを楽しめる
- ・大学生と同じように図書館や食堂、ジム等の大学施設を利用できる
- ・大学に通うスペイン人とも交流しやすい

少人数のクラスや、ホームステイ以外の滞在方法をご希望の方には私立の語学学校もお勧めです。お気軽にご相談下さい。

スペイン留学.jp では、ご希望に合った学校選びや、プランの作成など幅広くお手伝いしております。漠然とイメージされている留学プランや、目的・期間・ご予算など、まずは、お気軽にご相談下さい。

【お問合せはこちら】

スペイン留学.jp

URL : www.spainryugaku.jp

TEL : 06-6346-5554

E-mail: info@spainryugaku.jp



<https://www.facebook.com/spainryugaku.jp>
「いいね!」をクリックして今すぐスペイン留学の最新情報を入手しよう!



@spainryugaku
ツイッターでも留学情報を配信しています!





Valladolid

文・Turismo de Valladolid
翻訳・井原亜紀

かつてのスペインの首都、古都市バジャドリッド。

Valladolid, a orillas del río Pisuerga, presume de ser la ciudad del castellano impoluto, gracias a escritores como José Zorrilla, Miguel Delibes o Miguel de Cervantes. Una inmersión en el arte, la historia, el patrimonio y la tradición de manos de figuras tan importantes como Felipe II que hizo de esta ciudad cosmopolita y cultural, la capital de España.

バジャドリッドは、ピスエルガ川沿岸に位置し、ホセ・ソリージャやミゲル・デリーベス、ミゲル・デ・セルバンテスといった作家達のおかげで、混じりけのない完璧なスペイン語を伝える地であることを自負する町です。かつて、スペインの首都であったこの町を文化的で国際性豊かな町にした王、フェリペ2世という、この町にとって重要な人物の功績により、いまでも芸術、歴史、文化遺産、そして伝統が深く根付いています。



INFORMACIÓN バジャドリッドについて

州:カスティーリャ・イ・レオン州
県:バジャドリッド県(州都)
人口:約32万人
標高:約700m

Valladolid, situada en el valle del río Duero, es la ciudad más grande de Castilla y León y capital administrativa de la comunidad. Disfruta de unas espléndidas comunicaciones gracias al tren de alta velocidad, que en tan solo una hora sitúa al viajero en Madrid, y gracias a su aeropuerto internacional que conecta la ciudad con otros puntos de España y de Europa.

その領域がドウエロ川流域にまで達するバジャドリッドは、カスティーリャ・イ・レオン州の中でも最も大きく、この自治州の行政上の州都となっています。高速鉄道(AVE)という、卓越した交通手段があるおかげで、マドリッドまではたった1時間で快適に行くことができますし、さらにはマドリッド国際空港からスペイン各都市やヨーロッパ各地へとつながっています。





4

Hablar de Valladolid es hablar de historia: Capital de España de 1601 a 1606 con Felipe II, que nació en la ciudad del Pisuerga; en ella se casaron y vivieron los Reyes Católicos Isabel y Fernando; Cervantes escribió parte de su gran obra El Quijote y Cristóbal Colón murió en Valladolid.

バジャドリッドを語ることは歴史を語ることです。それは前述のフェリペ2世がこのビスエルガの地に誕生したこと、1601年から1606年までの間スペインの首都であったこと、後にカトリック両王と称された、カスティージャ王国の王女、イザベルとアラゴン王国の王子、フェルナンドが結婚式をあげ、そこに住んだこと、セルバンテスがその偉大な作品、“ドン・キホーテ”の一部分を執筆したこと、そしてクリストバル・コロンはこのバジャドリッドで最期の時を迎えたことなどからそのことがうかがえます。



5

1. マジョール広場 2. ソリージャ広場 3. 金の噴水
4. ファマの噴水 5. イサベル・ラ・カトリカ橋
6. 旧市街の風景 7. 大学広場



6



7

Tapear, ir al teatro, catar vinos y disfrutar de la amplia oferta de conciertos musicales son actividades que llenan las calles de la ciudad de vida y gente joven.

Pasear por el centro histórico es imprescindible, pero la provincia ofrece también grandes oportunidades de ocio: parques, bosques, viñedos, paseos a la orilla del río, etc.

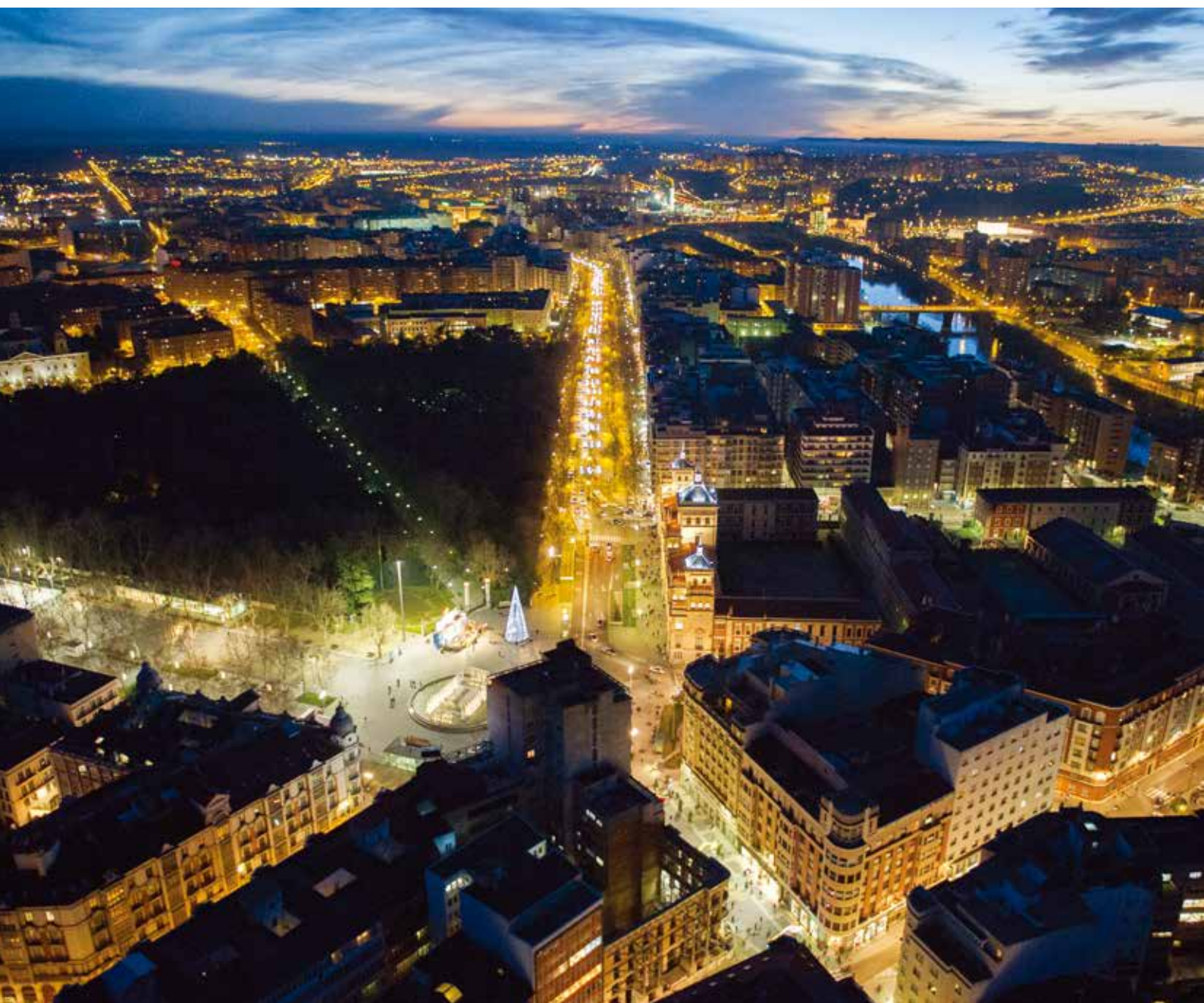
Valladolid es una ciudad joven y dinámica y la cultura está presente a lo largo de todo el año, dando protagonismo a todo tipo de manifestaciones culturales y acercando, en muchos casos, la vida cultural a la calle.

Entre los eventos más importantes están la Semana Internacional de Cine de Valladolid (SEMINCI), el Festival Internacional de Teatro y Artes de Calle de Valladolid (TAC), el Concurso Nacional de Pinchos y Tapas, la Feria del Libro o la Semana Santa, declarada de Interés Turístico Internacional, entre otros.

タパス(小皿料理)をつまむ、劇場に足を運ぶ、ワインの味見をする、そして多種多様の音楽のコンサートを楽しむ、これらのことが若者の、そして生氣あふれる町の通りのあちこちに溢れています。歴史の中心部を歩くことも欠かせないけれど、県内には公園、森、ブドウ畑があり、また川沿いを散歩するなど、滞在を楽しめる場所が沢山あります。

バジャドリッドは若く、ダイナミックな町です。1年を通して文化に触れる機会があり、あらゆるタイプの文化活動が行われていますが、特に多くの人々を惹きつけているのが路上でのパフォーマンスでしょう。

この町では様々なイベントが催されていますが、その中でも重要なものに、バジャドリッド国際映画週間(SEMINCI)や、バジャドリッド国際路上パフォーマンス祭(TAC)、バジャドリッド ピンチョス(一口おつまみ)とタパス(小皿料理)全国コンクール、書籍フェア、そして国際観光行事に指定されているセマナ・サンタ(聖週間)の行事などがあげられます。



1. バジャドリッド市内 2. サン・ベニト修道院 3. エレリアーノ様式の中庭美術館 4. アセラレコレトス通り

En numerosos municipios de la provincia se suceden los festivales de teatros de calle y encuentros musicales en enclaves tan espectaculares como sus castillos.

Destacan también las recreaciones y ambientaciones de la época medieval, auténticas ventanas al pasado en las que se implica toda la población, y las fiestas ligadas a la vendimia, tan importante en una provincia donde confluyen cinco Denominaciones de Origen vitivinícolas.

県内の数多くの市町村では、路上演劇祭や、まるでそれぞれの城のように趣向を凝らしたステージが作られ、そこで音楽セッションが行われています。

また、色々なレクリエーションや、町全体が過去を覗ける窓のようなこの町の中世の雰囲気、そしてブドウの収穫期に合わせて行われる祭りは、原産地呼称ワイン(デノミナシオン・デ・オリヘン)に認定された5軒のブドウ栽培・醸造者が集まる県ではとても大切なもので、これらもまた、この町の見どころとして特筆すべきでしょう。



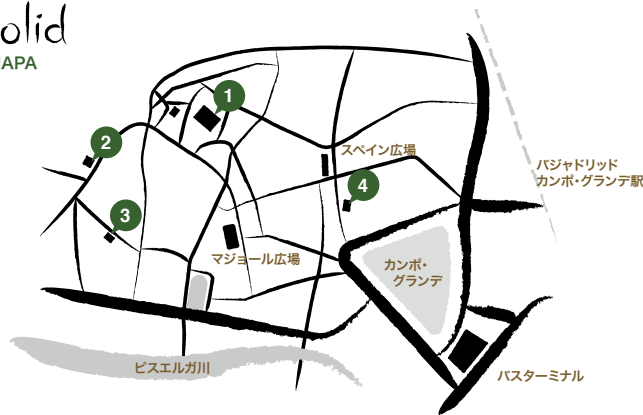
2



3

Valladolid

バジャドリッドMAPA



LUGARES PARA VISITAR バジャドリッドの見どころ

- ① **CATEDRAL カテドラル**
開館時間: 火～金曜日 10:00～13:30/16:30～19:00
土・日・祝 10:00～14:00 休館日: 月曜日
料金: 2.50ユーロ
- ② **IGLESIA DE SAN PABLO サン・パブロ教会**
開館時間: ミサの時間のみ
- ③ **MUSEO DE VALLADOLID バジャドリッド博物館**
開館時間: 火～土曜日 10:00～14:00/16:00～19:00
(※7～9月時間変更あり) 日・祝 10:00～14:00
休館日: 月曜日、1/1・6、5/13、9/8、12/24・25・31
料金: 1.20ユーロ
- ④ **CASA DE CERVANTES セルバンテスの家**
開館時間: 火～土曜日 9:30～15:00
日・祝 10:00～15:00
休館日: 1/1・6、5/1、9/8、12/24・25・31 料金: 3ユーロ

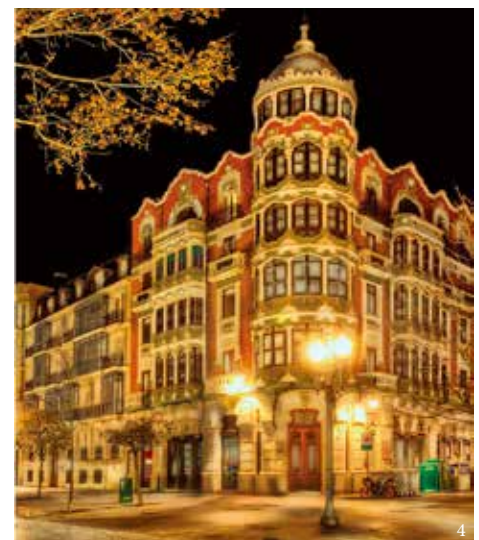
CÓMO LLEGAR バジャドリッドへのアクセス

- 🚊 電車: マドリード・チャマルティン駅から約1時間～3時間
- 🚌 バス: マドリード・モンクロア駅から約1時間

Valladolid es conocida como la cuna del español, un honor al que se une su fama de ser el lugar donde se habla el mejor castellano. No en vano ha sido hogar de escritores como Miguel de Cervantes, José Zorrilla o Miguel Delibes. La oferta de cursos de español es muy amplia, tanto en el Centro de Idiomas de la Universidad de Valladolid, una de las más antiguas del país, que acoge cada año a miles de estudiantes que estudian las más variadas carreras universitarias en un campus moderno y muy bien equipado, como en la Universidad Europea Miguel de Cervantes, o en las distintas academias y centros de idiomas repartidos por toda la ciudad. Descubre toda la información para viajar a Valladolid en www.spanishvalladolid.com

バジャドリッドはスペイン語発祥の地として知られており、質の良いスペイン語が話されているという評判はこの町の榮譽のひとつです。そしてこのような町に、ミゲル・デ・セルバンテスやホセ・ソリージャ、ミゲル・デリーベスなどの作家達が住んだのもうなずける話ではないでしょうか。ここではバラエティ豊かなスペイン語のクラスが開講されていますが、例えば、スペインで最も古い大学のひとつである、バジャドリッド大学の語学センターでは毎年何千人もの学生を受け入れていて、学生達はきちんと環境の整ったモダンなキャンパスで、最も多様性のある課程を学んでいますし、また、エウロペア・ミゲル・デ・セルバンテス大学や、町の至る所に散在する語学センターや語学学校でもスペイン語を学ぶことが出来ます。バジャドリッドへの旅行に関する案内は、下記のURLでご覧いただけます。

www.spanishvalladolid.com



4



TURISMO DE VALLADOLID

Acera de Recoletos s/n. Valladolid
Tel: (+34) 983 219 310
lengua@valladolidturismo.com
www.spanishvalladolid.com



LEARN SPANISH IN SPAIN

University of Valladolid

バジャドリッド大学 外国人用スペイン語コース

スペイン語発祥の地として知られるバジャドリッド。
美しいスペイン語が学べると世界中から学生が集まります。
1週間から受講可能なスペイン語クラスから、
スペイン文化も学べる長期コースまで受講いただけます。

www.spanishinvalladolid.com



Universidad de Valladolid

Cursos de Español

Centro de Idiomas Universidad de Valladolid
Campus Miguel Delibes, Paseo de Belén, 13
47011 Valladolid, España. Tel +34 983 18 46 70
E-mail: curesp@funge.uva.es





¡Vamos a hablar español!

スペイン語で話そう

Lección 5

～は誰ですか？

¿Quién es ...?



人の尋ね方：「～は誰ですか？」

¡Hola! みなさん、こんにちは。今回は疑問詞「Quién」とSer動詞を使って「人の尋ね方・答え方」を学びましょう。

また、答える時に必要な語彙も合わせて覚えていきましょう。人を表す言葉と家族に関する単語を紹介します。

人の尋ね方・答え方

¿Quién es ... ?

～は誰ですか？

¿Quiénes son ... ?

Es / Son ~ . ○○です。

例) ¿Quién es ese chico joven? あの若い男の子は誰ですか？
Es Miguel, el hermano de Elena. エレナの弟のミゲルです。

前置詞 + Quién

¿De quién ... ? 誰の～？

¿Para quién ... ? 誰の(ための)～？

¿Con quién ... ? 誰と～？

例1) ¿De quién es este bolso? これは誰のかばんですか？
Es de María. マリアのかばんです。

例2) ¿Con quién vas a ir al cine? 誰と映画を観にいくの？
Voy a ir con José. ホセと行くよ。

+αで覚えよう！ その1 [人を表す言葉]

(児童、子供)男の子、女の子 **niño/-a, niños/-as**

(子供、青年)男の子、女の子 **chico/-a, chicos/-as**

男性、女性 **señor/-a, señores/-as**

友達 **amigo/-a, amigos/-as**

同僚 **compañero/-ra, compañeros/-as**

上司 **jefe/-a, jefes/-as**

+αで覚えよう！ その2 [家族]

両親、父親、母親 **padres: padre, madre**

夫、妻 **marido, mujer**

兄弟(姉妹) **hermano/-a, hermanos/-as**

祖父、祖母 **abuelo/-a, abuelos/-as**

義父、義母 **suegro/-a**

義兄(弟)、義姉(妹) **cuñado/-a, cuñados/-as**

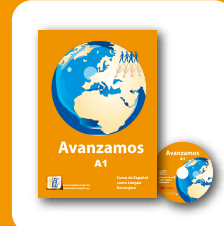


スペイン語教室 ADELANTE

- ・一般・旅行・商業・DELE検定対策・プライベートなど目的やペースに合わせて選べるコース
- ・ネイティブ講師だからプチ留学気分！自然なスペイン語がマスターできる！
- ・振替ができるので忙しくても安心！
- ・月謝払いOK!

無料体験レッスン
教室見学など
随時受付中！

スペイン語教室 ADELANTE
〒530-0001 大阪府大阪市北区梅田2-5-8千代田ビル西別館2F
TEL: 06-6346-5554 FAX: 06-6110-5122 www.adelante.jp



AVANZAMOS A1

- 日本の学習事情を考慮して作られた西語で西語を学ぶ入門者向けテキスト
- 個人授業／グループ授業 使用可
- 充実の104P (オールカラー)・CD付
- ¥1,944 (税込)

アデランテショップで好評販売中！
www.adelanteshop.jp

母音変化動詞の活用について(2)

Sobre la conjugación de los verbos con cambio vocálico en la raíz II

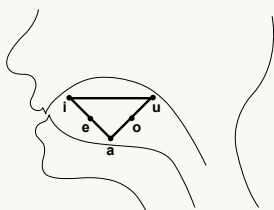
前号に引き続いて母音変化動詞の活用を扱います。2つ目のタイプの動詞は、母音の狭め「閉音化」(cierre)によるものです。このグループには-ir型動詞しかありません。母音変化が起こったメカニズム自体が前号で見た二重母音化のものと異なります。

代表的なのが過去形における母音変化です。それぞれのパターンを表にしてみましょう。

【I型:e → i】sentir		【II型:o → u】dormir	
直説法点過去	接続法過去	直説法点過去	接続法過去
sentí	sintiera	dormí	durmiera
sentiste	sintieras	dormiste	durmieras
sintió	sintiera	durmió	durmiera
sentimos	sintiéramos	dormimos	durmiéramos
sentisteis	sintierais	dormisteis	durmierais
sintieron	sintieran	durmieron	durmieran

【III型:e → i】pedir	
直説法点過去	接続法過去
pedí	pidiera
pediste	pidieras
pidió	pidiera
pedimos	pidiéramos
pedisteis	pidierais
pidieron	pidieran

母音三角 (triángulo vocálico)



まず直説法点過去を見てください。3人称の単数と複数で「母音の狭め」が起こります。つまり、「e→i」、「o→u」という変化です。eよりiの方が口を閉じて発音する音です。同様にoと言いながら口を閉じていくとuになります。上の図を見てください。「母音三角」(triángulo vocálico)と言います。スペイン語の5つの母音の調音点を示しています。

では、なぜこのような現象が起こるのでしょうか。変化する母音の直後の音節を見てください。-ioか-ieになっています。ここに秘密があります。これらの音節は二重母音では通常の母音ではなく「半子音」(semiconsonante)なのです。「イオ」と「ヨ」の中間の「イオ」という感じです。この半子音のことを言語学で「ヨッド(yod)」と呼びます。そしてこのヨッドは前の母音に影響を与えるのです。具体的に言うところを発音を狭めるように働きます。つまり、[e...iό]→[i...iό]、または[o...iό]→[u...iό]となります。このヨッドがあるのが6つの活用中2つなのでこの2つのみで母音の変化が起こっていたというわけです。例文を見ましょう。

Las redes sociales **h**irvieron de comentarios sobre el nuevo tratamiento para adelgazar.

その新しいダイエット方法はネット社会で話題沸騰した。

次に接続法過去ですが、3人称複数形を元にすべてが作られます。例えば、sentirであればsentieronの-ronを取って(-ra, -ras, -ra, ramos, -rais, -ran)を付けます。ですから接続法過去ではすべての形で閉音化が起こります。上の表では-ra形のみ示しましたが、-se形でも全く事情は同じです。

さて、このヨッドによる母音の狭めは現在分詞においても起こります。sentir → sintiendo / dormir → durmiendo / pedir → pidiendo

En estas elecciones generales estamos eligiendo a nuestros representantes, quienes tendrán una importancia decisiva para la siguiente generación.

今回の総選挙では我々は次世代に決定的な重要性を持つ代表を選んでいるのだ。

さて、実は-ir型の母音動詞は現在形でもまたこの閉音化が起こるのです。以下の表を見てください。

【I型:e → ie, i】sentir		【II型:o → ue, u】dormir	
直説法現在	接続法現在	直説法現在	接続法現在
siento	sienta	duermo	duerma
sientes	sientas	duermes	duermas
siente	sienta	duerme	duerma
sentimos	sintamos	dormimos	durmamos
sentís	sintáis	dormís	durmáis
sienten	sientan	duermen	duerman

【III型:e → i】pedir	
直説法現在	接続法現在
pido	pida
pides	pidas
pide	pida
pedimos	pidamos
pedís	pidáis
piden	pidan

まず、最初の2つの表(sentirとdormir)について説明します。強く発音するeやoにおいて二重母音化が起こるのは-ar型動詞、-er型動詞と同じです。問題は接続法の1人称と2人称複数です。sintamosとsintáisに注目してください。ここでは過去形で起こった母音の閉音化(cierre)が見られます。つまり、母音eは、「e→ie→i」と3通りに変化します。同様にdormirにおいてはoは、「o→ue→u」となります。

さて、最後の表のpedirですが、pedimosとpedísを除く全ての形で閉音化が起こっています。歴史的変化は複雑になり過ぎるので今回は立ち入りませんが、大雑把に言うところ語源的に半子音が後にあったために前の母音に変化が起こり、後にこの現象を起こしたヨッドが消滅します。いずれにせよこのパターンの動詞は意外に多いのでしっかり修得しましょう。

上の表には含めていませんが、túに対する命令形でも母音変化が起こることを確認しておいてください。

sentir → tú **s**iente / dormir → tú **du**erme / pedir → tú **p**ide

En este restaurante se ofrece buffet libre, así que **s**írvete todo lo que quieras.

このレストランはバイキングだから何でも好きなものを取ってね。

母音変化動詞は学習者にとって1つの難所と言えるでしょう。しかし、重要な動詞ほど不規則である傾向にあります。しっかりと修得すると表現の幅と理解力が格段にアップすること間違いなしです。¡Hasta la vista!



仲井 邦佳 なかいくによし / Kuniyoshi Nakai

立命館大学産業社会学部教授。京都イスパニア学研究会会長。専門はスペイン語学。著書に『はじめてのエスパニョール』(共著、三修社)、『中級スペイン語一文法と演習』(共著、同友社)などがある。

ビジネス スペイン語

NIVEL 中級 (B2) 以上

Vol.4

経営者は与えられた経営資源を最大限活用して事業運営を行い、儲け(利益)を確保し株主や社員に応分の還元をする責任を有する。また、儲けることで基礎技術、新規技術や新製品の研究・開発、販売網の拡充、人材育成などへの継続投資が可能となり、これが事業規模の拡大に繋がって企業価値を高める。だが、経営判断の誤りや経営環境の変化により業績が低迷し減益または赤字となることがある。

伊藤 嘉太郎先生
Yoshitaro Ito
長年の海外経験を
活かし、現在大学の
非常勤講師としてビ
ジネススペイン語講
座を担当。



☑ 利益について

そこで今号では減益、赤字の表現にいろいろ異なった形があることを学びます。

ejemplo 1

La compañía Taitan obtuvo **al cierre de 2014 un beneficio neto de 836 millones de dólares, un 22% menos que en el ejercicio anterior, cuando ganó 1,072 millones de dólares.**

「Taitan社は2014年度決算で、純益8億3千6百万ドルを確保したが、前期利益10億7千2百万ドルと比べ22%減益となった。」

ejemplo 2

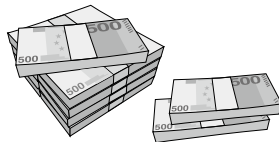
Multihogar **registró en 2014 una pérdida en su ganancia operativa por el valor de 105 millones de euros por primera vez en 5 años.**

「Multihogarは2014年度5年振りとなる1億5百万ユーロの営業利益 赤字となった。」

ejemplo 3

La compañía alimentaria Mesa **perdió 45,9 millones de euros en 2014 debido a los costes del ajuste de su plantilla que se llevó a cabo, frente a los beneficios de 70,4 millones registrados en el año anterior.**

「食品会社MESAは、2014年度従業員雇用調整コストが原因で4,590万ユーロの損失(赤字)となった。一方、前年実績利益は7,040万ユーロだった。」



ejemplo 4

El grupo Solar **redujo el beneficio del primer semestre del ejercicio hasta 925 millones de euros. Es un 10 % menos que en el mismo período de hace un año.**

「Solarグループの本年上半期利益は減益の9億2千5百万ユーロに留まった。これは前年同期比10%の落ち込みである。」

ejemplo 5

La empresa SIGMA **cerró el año 2014, con un descenso del beneficio del 70%, 220 millones de euros, la peor cifra desde su fundación.**

「SIGMA社の2014年度決算利益は、70%減益の2億2千万ユーロと創業以来最悪(の数値)となった。」

2回にわたって利益、増益、減益、赤字などの表現を学んできましたが、理解できましたでしょうか。頭の中がまだ十分整理されていない方はもう一度復習してみてください。次回からは経営管理全般についてのさまざまな表現を紹介します。

ejemplo 1

1. al cierre de 2014: 前号のejemplo 5で説明しました通り、「2014年度決算で」と訳します
2. un 22% menos que: 文字面では「〜より22%少ない(減少)」ですが、利益について言及しているので「〜と比べ22%減益」と理解します
3. en el ejercicio anterior, cuando ganó...の cuandoのところが“en que ganó...”に置き換えることもできます

ejemplo 2

1. registró...una pérdida: 赤字を計上した
2. en su ganancia operativa: 営業利益で
3. por primera vez en 5 años: 5年振りに、“la primera vez desde hace 5 años”とも表現できる

ejemplo 3

1. perdió: 損をした、損失を出した、赤字となった
2. los costes del ajuste de su plantilla: 従業員雇用調整コスト→人員削減コストのこと、los costes=los costos(ラテンアメリカでは)。また、“plantilla”(従業員全体をいう)は“planilla”(本来の意味は従業員台帳)とも表現される
3. frente a: 〜と比較して、これに対して、一方
4. los beneficios ...registrados: (前年度に)計上された利益→(前年)実績利益

ejemplo 4

1. redujo el beneficio...hasta 925 millones de euros: 9億2千5百万ユーロまで減益となった。つまり減益の結果9億2千5百万ユーロになったということであり、9億2千5百万ユーロが減益金額ではないので意味の取り違いがないよう留意して下さい
2. es un 10% menos que...: (前年同期比)10%の落ち込みである: ejemplo 1と同様の表現。
3. en el mismo período de hace un año: 1年前の同じ時期→前年同期

ejemplo 5

1. cerró el año 2014: 2014年度を締めたと2014年度決算利益、と文脈から解釈する
2. con un descenso del beneficio del 70%: 70%利益の落ち込み、低下、減少→70%減益
3. la peor cifra: 最悪の数値。過去最悪の数値→la peor cifra histórica

もっと詳しく
知りたい方は...

中級ビジネス
スペイン語特別講座

【対象者】

現役のビジネスパーソンでビジネススペイン語力を高めたい方、将来スペイン語を使った仕事に就く予定・計画のある方、スペイン語のステップアップとして実践的なスペイン語学習を求める方

【講座内容】

ビジネス関連情報の読み取り方、顧客への自社業務・担当業務の説明、E-mailによる社内外とのコミュニケーション等

【講座概要】

計6講座(各90分)
定員: 4〜5名の少数クラス
(最小実施人数3名)
講師: 伊藤嘉太郎
場所: スペイン語教室ADELANTE
アクセス: JR大阪桜橋駅から徒歩5分

スペイン語
ADELANTE
www.adelante.jp

スペイン語を生きよう

スペイン ラテンアメリカ



年間3万5千人・85ヶ国からの留学生が受講中(アジアからの留学生は10%以下)。

スペイン・メキシコ・コスタリカ・エクアドル・ラテンアメリカ諸国計32都市の校舎にて受講頂けます。

多彩なスペイン語コースから、あなたのニーズにあったコースをチョイス。

徹底した少人数制(最大8名・平均4名)。

現地日本人スタッフのきめ細やかなサポート。



ヘッドオフィス Tel.: +34 91 594 37 76 | keiji.tanimura@donquijote.org

アリカンテ/バルセロナ/グラナダ/マドリッド/マラガ/マルベリャ/サラマンカ/セビリア/テネリフェ/バレンシア (スペイン)
アルゼンチン/ボリビア/チリ/コロンビア/コスタリカ/キューバ/ドミニカ共和国/エクアドル/グアテマラ/メキシコ/ペルー (ラテンアメリカ)

スペインのエッセンスが詰まった セビリアとカディスで語学留学

- 語学教育と講師養成コース等で世界的に定評のある**International House**及び**EQUALS**メンバー校
- 1週間の短期から長期までご希望のコース期間が選択可能
- **DELE**試験開催校(年3回)として安心と信頼の**DELE**対策コース
- 現地日本人スタッフによる安心のサポート



CLIC International House Sevilla y Cadiz

クリック・インターナショナルハウス・セビリア&カディス

Email: japan@clic.es (日本語でどうぞ) **www:** www.clic.es/jp (日本語サイト)

ピアニスト・下山静香の 音楽の時間



「バレエ・リュス」とスペイン

その4

ディアギレフ率いるバレエ・リュスが、長く滞在したスペイン。その風土と人々、豊かな民俗舞踊に触れた日々の集大成と言えるのが、スペインを代表する芸術家パブロ・ピカソ、マヌエル・デ・ファリャとのコラボレーションで誕生した《三角帽子》である。初演はロンドンのアルハンブラ劇場で、第一次大戦の終結から約8か月を経た1919年7月22日に行われた。

《三角帽子》の舞台は18世紀のアンダルシア、サン・フアン(聖ヨハネ)の祝日である。粉屋の女房に横恋慕した代官(市長)が、粉屋を不当に逮捕させ、その隙を狙って女房に強引に迫ろうとするが、うっかり川に落ちてずぶ濡れに。着替えのため粉屋の家に入ったところへ、留置所から逃げ出してきた粉屋が戻ってくる。寝室で濡れた代官の服を見つけた粉屋は、妻が不貞を働いたと勘違い、復讐のため代官の家へ向かう。そこに警吏たちがやってきて、粉屋の服を着た代官を見つけ、実は代官とは知らずに捕まえて散々に打ちすえる。最後には村人も集まってきて代官は笑いにされる——という、風刺のきいた筋である。

粉屋役はもちろんレオニード・マシーン、粉屋の女房には、このシーズンから団に復帰したカルサーヴィナがキャスティングされ、好色の代官を若手のウオイジコフスキーが踊った。メインとなる踊りは、粉屋の女房の踊り(ファンダンゴ)、村人たちの踊り(セグディーリャス)、粉屋の踊り(ファルーカ)、代官の踊り(メヌエット)、フィナーレの踊り(ホタ)である。メヌエット以外はすべてスペイン舞踊であるが、あくまでも「バレエ」でありながら、スペイン舞踊を巧みに取り入れているのが画期的で、ディアギレフのもとで華開いた振付家マシーンの才能が冴えている。もちろん、あの不運なジプシーの踊り手フェリックス・ガルシアも、陰の功労者であることを忘れてはならないだろう。



レオニード・マシーン

冒頭ではティンパニの連打、続いて2本のトランペットによるファンファーレが響く。間髪入れず踵を鳴らす音、カスタネット、さらに「オレ!オレ!オレ!」と3回の掛け声。このイントロの効果で、観客は一瞬にしてスペインにいざなわれる。幕が上がると現れるピカソのアクト・カーテンには、闘牛を観戦する人々が描かれていて、スペイン気分はさらに盛り上がる。このアクト・カーテンは、《パレード》のために制作したものとまたスタイルが異なるが、同様に称賛された。白とグレー、少し沈んだ色調のピンクに深い青が配色された背景は、シンプルかつ美しいもの。衣装も斬新で、バレエを華やかに引き立てた。ピカソは、粉屋の衣装に半ズボンデザインしたのだが、マシーンは、ファルーカの踊り手はタイトな長いズボンを履いているのだから、長ズボンにするべきと主張したそうである。両者はしばらく譲らなかったが、結局、前半で長ズボン、後半で半ズボンを着用することで落ち着いた。

この作品の音楽をさらにみても、スペインの多様な地方性が効率よく盛り込まれている。たとえば、粉屋はムルシア、女房はナバラ出身という設定で、粉屋のテーマにはファリヤ自作の《7つのスペイン民謡》から〈モーロ布地〉の前奏部分が、女房のテーマにはホタの素材が使われるなど、ファリヤが細部までこだわって作曲していることがうかがえる。(ホタはアラゴン地方を本場とするが、隣接するナバラでもポピュラーな踊りである。)その他にも、様々な民謡や子供の歌などが引用されていて、スペインの人々からすれば、普段から親しんでいるメロディがそこに顔を出す、楽しい仕掛けが満載なのだ。ディアギレフやバレエ・リュスの面々は、多分そこまで細かく知らされてはいなかっただろうが、《三角帽子》はバレエ・リュス話題の新作でありながら、「スペインらしさ」の紹介にもひと役買っているのである。

粉屋がソロで踊るファルーカは、ガリシア地方の伝統的な短詩をベースに、タンゴから派生したフラメンコの曲種のひとつである。これは、改作前のパントマイム作品《代官と水車小屋の女房》にはなかったもので、ディアギレフからマシンの見せ場を作ってほしいと乞われたファリヤが短時間で作曲した。

代官の踊るメヌエットが象徴しているのは、上流社会。スカラッティ風の曲想のなかに、ピリッと揶揄が効いている。18世紀の幕開けと同時に、スペインの王室はハプスブルクからブルボンに継承され、ルイ14世の孫である国王(アンジュー公フィリップ＝フェリペ5世)のもと、スペインの上流階級はフランスかぶれとなった。それに反発した庶民が、セギディーリヤスやファンダンゴといったスペイン生粋の民俗舞踊を愉しんでいた一方、ハイソな人々はメヌエットなどの難しいステップを覚えるのに必死だったというわけである。この作品中で、村人たちが踊るのがセギディーリヤスなのも、そんな時代の理にかなっているといえる。

コール・ド・バレエでホタが賑やかに踊られるフィナーレでは、ゴヤのタピスリーに描かれ、ゴヤに触発されたグラナドスによるピアノ曲でも有名な「わら人形遊び(エル・ペレレ)」も登場する。女性たちがブランケットの端を持ち、その上でわら製の人形を高く跳ね上げる「エル・ペレレ」の遊びは、図像学的には「女性が男性を囓う」と解釈されてきた歴史がある。ここではまさに、笑い者となった代官をペレレとオーバーラップさせているのである。

ところでファリヤは、この初演には立ち会えなかった。「母危篤」の電報が届き、急ぎよスペインに戻るようになったのである。アルハンブラ劇場での《三角帽子》の指揮は、バレエ・リュスの専属指揮者だったエルネスト・アンセルメが行った。アンセルメは、ストラヴィンスキーの紹介でディアギレフと知り合っており、《パラード》の初演も指揮している。アンセルメは滅多に人をほめないタイプだったそうだが、この《三角帽子》におけるマシンの踊りを「忘れられない」と賞している。

アルハンブラ劇場でのシーズンを終えたバレエ・リュスは、興行の場をエンパイア劇場に移す。その期間中、スペイン国王がロンドンを訪れ、《三角帽子》を初めて鑑賞した。ディアギレフとバレエ・リュスの庇護者である国王がたいそう喜んだのは言うまでもない。

エンパイアでの公演は12月20日で終了、数日後のクリスマス・イブには、早くもパリ・オペラ座での初日を迎える。《三角帽子》は翌1920年に上演され、パリの観客にも好意的に受け入れられた。そして、1920年代パリを中心に興る「第2次スペインブーム」の立役者ともなるのだった。

〔続く〕文・写真提供 下山静香



下山静香 しもやましずか / Shizuka Shimoyama

桐朋学園大学卒。文化庁派遣芸術家在外研修員としてスペインへ渡り、マドリッド、バルセロナで研鑽。スペイン各地に招かれリサイタルを行い、「スペインの心を持つピアニスト」と賞される。ラジオ、テレビ番組に多数出演、これまでに6枚のCDをリリース。共編著書1冊、共著8冊、翻訳書1冊、校訂楽譜2冊がある。現在、スペイン・中南米音楽を含む多彩なレパートリーをもつピアニストとして活発な演奏活動を展開。またクラシック界にあって、翻訳・執筆・講演とマルチにこなすユニークな存在として注目を浴びている。桐朋学園大学、東京大学 各非常勤講師。

Official Web Site <http://www.h7.dion.ne.jp/~shizupf> 
裸足のピアニスト・下山静香のブログ <http://ameblo.jp/shizukamusica>

Información

- 11月13日 上智大学にて講義「近・現代ヨーロッパ音楽と、スペインの個性」
- 11月14日 下山静香リサイタル (富士市・ハウスソノネンシャイン音楽堂)
- 11月21日 モーツァルティアンフェライン例会 <下山静香リサイタル> (原宿・カーサ・モーツァルト)
- 11月30日 下山静香 <情熱と哀愁のピアノ音楽～スペイン・中南米クラシックへの招待～> (広島・ライフワンミュージック 221ホール)
- 12月5日 <下山静香が贈る♪ 音楽×美術 vol.2 ～印象派・パリがみた夢> (杉並公会堂小ホール)
- 12月16日 下山静香グラシア・クリスマス例会ライブ (恵比寿・アートカフェフランス)
- 1月23日 下山静香テルトゥリア <音楽×文学 vol.1 ～サティ×坂口安吾> (五反田・Gcallサロン)

スペインとラテンアメリカにて 最先端を行くスペイン語学校

創立 1989年

Enforex



留学はスペイン、メキシコ、コスタリカ、エクアドル、ラテンアメリカ諸国の24都市からお選び頂けます。

全 20 スペイン語プログラム。短期留学・長期留学も自由自在です。

マドリード本部には日本人スタッフが常駐して居ります。

認定校:



 ヘッドオフィス

Gustavo Fernández Balbuena, 11 | 28002 Madrid

Phone: +34 91 594 37 76

Fax: +34 91 594 51 59

E-mail: asia@enforex.es

 ideal
education group

グラナダ | マラガ | マルベリヤ | サラマンカ | バレンシア | アリカンテ | バルセロナ | マドリード | セビーリヤ | テネリフェ
アルゼンチン | ポリビア | コロンビア | コスタリカ | チリ | キューバ | ドミニカ共和国 | エクアドル | ガテマラ | メキシコ | ペルー

(スペイン)
(ラテンアメリカ)

日西商業会議所 Cámara de Comercio Hispano Japonesa

マドリードにオフィスを構える日西商業会議所(Cámara de Comercio Hispano Japonesa)は、日本とスペイン間の商業関係促進のために1954年に設立された民間団体です。会員をはじめとして顧客へのビジネスサポート、イベント開催、各種講座の開講、スペイン情報の発信、各種出版など、日本・スペイン間の理解、関係改善に向けた様々な活動をおこなっています。ここでは、日西商業会議所発行『スペイン広報』と記事の一部をご紹介します。

ウエルバの魅力を日本に伝えるースペイン・ポルトガルの企業家を支援して

去る2015年10月2日～4日、日本のジャーナリストやインボーター、旅行代理店(マドリード支店)の方々がウエルバ県パルマ・デル・コンダドを視察に訪れた。この視察はパルマ・デル・コンダドがコーディネーターとなり、Ruta CECE の加盟企業やこの地のワイナリー、またパルマ・デル・コンダドやその周辺の観光スポットを日本人に知ってもらう目的で企画され、その分野で活躍されている方々を招待し実現した。

Ruta CECEは既に起業している経営者だけでなく、これから企業したい人々のアイデアをいかに実現するかのアドバイスや育成を行い、ソーシャルネットワーク等を活用して相互協力で相乗効果を上げ、安定した経営を支える為に発足したスペイン・ポルトガル間のプロジェクトである。

この視察にいらしたのは、株式会社オータパブリケーションズの土屋智子氏、株式会社日本食糧新聞社の江端哲也氏、サンセーコー21株式会社正光社の原田雅政氏、有限会社グランジャポンの三浦安也子氏、アドヴァンス・テクノサービス株式会社の新村奈那氏、JTBビアヘス・スペイン株式会社の土屋寛子氏(順不同)。



視察は実際ワイナリー等を訪ねたり、庁舎のホールで食品関係とその他の分野に分かれ2部制でプレゼンテーションを行った後、中庭で実際に商品を手にとり試食・試飲、試着等を行った。食品関係では、ワイン、ブランデー、オレンジ風味のリキュール、生ハム、チーズ、オールドビネガー(25年、50年熟成)、ポテトチップス、栗のパテやマロングラッセ、ワインのゼリー(煮詰められジャム状)、乾燥イチジクのお菓子(ココアやアーモンドがかかっている)等が紹介された。またその他の分野では、丁寧に手作りされたフラメンコ衣装や子供服、ポルトガルの伝統衣装ビオコをモダンにアレンジしたジャケットコート、エコツアーや近隣の観光スポット等が紹介された。

最終日にはこの地の見どころを観光した。スペイン最大級の巡礼として知られるエル・ロシオを始めとして、鉄鉱石や銅の産地で、含まれている硫化物の影響で川の水が濃い赤色を放つリオ・ティント。また世界遺産に登録されているヨーロッパ最大級の自然保護区のドニャーナ国立公園周辺や、将来闘牛になる牛等が放牧されている牧草地のデエサ・ラ・ソレラを実際に訪ねた。

短い視察ではあったが、これを機にパルマ・デル・コンダドやRuta CECEに加盟の企業が更に活気付ききっかけになって欲しいと願っている。



スペイン情報誌 季刊『スペイン広報』

1985年創刊の『スペイン広報』は、スペインの文化、経済をオールカラー、豊富な写真でお伝えする日本語の季刊誌。日本ではあまり知られていない地域の魅力や祭り、アートの他、奥深いスペイングルメ情報も満載。

www.camarajaponesa.es/jpn/?cat=5



お問い合わせ先

日西商業会議所 / Cámara de Comercio Hispano Japonesa

www.camarajaponesa.es/jpn

camara@camarajaponesa.es ☎ (+34) 91 851 12 11

✉ Apartado 10124 - 28080 MADRID - SPAIN





WHY NOT MIXTA?

ミクスタしませんか?



レモン風味の爽快なビールテイスト飲料

マオウ「ミクスタ」は、ビールとレモン風味の炭酸水をミックスした炭酸飲料です。レモンの爽やかな酸味と甘味に加え、ビールの原料である穀物の香りがほのかに感じられます。後味は、甘酸っぱく、すっきりとしたシトラスの風味が持続します。

※この商品は、アルコール0.9%を含みます。20歳以上の方を想定して開発した商品ですので、お子様の飲用はご遠慮ください。



株式会社キムラ

広島県広島市中区羽衣町13-12 TEL.082-241-6703 FAX.082-241-4375

<http://www.liquorlandjp.com>

キムラ 酒

検索

1937年5月26日、キャパは、パリのスペイン共和国大使館から安全通行許可書の交付を受け、直ちにスペインに向かった。そしてバレンシアで待機していたタローと落ち合い、共和国軍の反撃を撮影するために、セコピア付近のナバセラーダ峠に向かう。ヘミングウェイの『誰がために鐘は鳴る』で描かれているシーンの1つであった。2人はライカとアイモ（小型で手で持てる映画撮影用カメラ）を交互に交換しながら共和国軍の兵士や将校をそれなりに撮影したが、大した戦闘が展開されたわけではないので、期待はずれであった。

その後、2人はマドリードに戻り、近郊のカバランチェルでゲリラ的に戦っているダイナミト部隊の写真を撮り、映画を撮った。24日早朝、マドリードの南のペニャローヤ山麓近くに駐屯している共産党系のチャバーエフ大隊司令部に到着した。この日の午後、2人は大隊の政治委員で、ドイツ人作家のアルフレート・カントロヴィッチ（愛称カント）の部下に攻撃シーンを演じてもらい、写真と映画を撮った。「攻撃シーンはすべてキャパが演出した。敵のファシストの位置を想定し、そこに向かって、戦意高揚した兵隊たちが雄叫びを上げ、勝利を目指して駆け足で勢いよく攻撃するシーンだ。……キャパはその結果に大いに満足していた」とカントは書き記している。またタローについては、カントは「なにものも彼女を引き留めることはできなかった。彼女は肩にカメラをかけ、無謀にも、白昼、援護なしに180メートルも走って横切った。それはちょうどシエスタの時刻だった。ファシストの連中も昼寝していたのだろう。すべては上手くいった。ヘルダ・タローはついに第二中隊の同志たちをたっぷり撮影した。兵士たちはほば力づくで暗くなるまでこの場を動かないようにさせなければならなかった」としたためている。

軍事演習に過ぎなかったが、共和国軍の勝利と思えるような戦闘シーンを撮影したキャパは、2人分のフィルムを持って、パリに戻る。タローは、マドリードに留まり、『ス・ソワール』の特派員として、第2回国際文化作家会議取材する。



7月4日から2日間、27か国から世界的に著名な作家や詩人を集めた国際文化作家会議が共和国の首都であるバレンシアで開かれた。ネグリン首相がこの会議の総括司会者となって、「スペインの兵士はスペインと人類の大義のために戦っている」と述べた、次いで、6日に会場をフランコ叛乱軍の攻撃にさらされている「世界の首都」マドリードに移されたのである。会議の参加者に共和国軍の優勢な攻撃を見せるためであった。会議そのものについて、これに参加したイギリスの詩人、ステューブ・スペンダーの自伝『世界の中の世界』によるとほぼ以下のようである。

各国から派遣された代表者たちは、スペイン共和国支持を表明するために集まった。しかし、これに隠された目的の1つは、アンドレ・ジイドを弾劾することであった。というのは彼が、ソ連を鋭く批判した『ソ連旅行記』を出版したばかりだからであった。果たせるかな、ソ連の代表者たちはこぞつて、スペイン共和国に対するソ連の支援を絶賛し、トロツキーとジイドを攻撃することに終始したのである。この弾劾が国際文化作家会議の真の目的であった。こうした任務が終われば、代表者たちには、パンと愉快的催し物が用意されていた。彼らはロールス・ロイスを乗りまわし、よく食べ、盛んに演説し、シャンペンを飲み、そのうえ、ヒステリックな惚れにとりつかれることも時としてあった。例えば、フランス派遣代表団の幹事で、作家のアンドレ・シャンソンは「自分は爆撃下のマドリードを直ちに去らねばならない、万一自分が殺されたら、フランスは必ずやフランコに宣戦布告するであろうし、それが世界戦争に進展するだろうからだ」と発言する始末。スペンダーはこの国際文化作家会議を評して「甘やかされた子供たちのパーティーのようだ」と述べている。会議が終わり、参加した作家たちが「フロント・ヴィジターズ（前線訪問団）」と称して傍若無人にふるまったために、幾多の地獄を掻潜ってきた国際旅団の義勇兵たちから酈盛を買ったのである。

タローは、この国際文化作家会議の取材をしていたが、7月10日に、マドリードの西側で新たに始まった共和国軍の大きな攻勢を取材したい旨を「ス・ソワール」社に電報を打ち、許可が出た。

この共和国軍の新しい作戦は、今日、「ブルネテ作戦」と呼ばれている。

共和国軍はこれまで防禦と反撃という点ではフランコ叛乱軍とほぼ互角に渡り合ってきたが、叛乱軍の主力部隊に全面攻撃を仕掛けたことはなかった。そこでグレゴリ・イワン・クリーク將軍を中心とするソ連の軍事顧問団とスペイン共産党の軍事専門家たちによってブルネテ奇襲作戦が立案された。これは、共和国軍陣営からすれば起死回生の作戦であった。フランコ軍傘下のドイツ・コンドル飛行軍団によるゲルニカの無差別爆撃を制圧（1937年4月26日）、バスク自治共和国の首都ビルバオの陥落とバルセロナへの移転（6月19日）、さらに日程にのぼっていたサンタンデルへの攻撃など、フランコ軍の北部攻略作戦を牽制するためでもあった。ついでのこの奇襲作戦に投入される共和国軍の編制に触れておこう。二個軍団編制で、その最高指揮官にはマドリード防衛評議会議長のホセ・ミアハ將軍が任命された。軍団、師団の指揮官は、唯一人を除いて全員共産党員で占め、旅団の指揮官で共産党員でない場合には、旅団付き政治委員が一部始終監視することになっていた。

いまや「ラ・パケナ・ルベナ（小さな赤狐）」という愛称で広く知れ渡っていたタローは、はたして「ブルネテ戦線」でどうなったのであろうか。

←次回につづく



川成洋 かわなりよう / Yo Kawanari

1942年札幌で生まれる。北海道大学文学部卒業。東京都立大学大学院修士課程修了。社会学博士（一橋大学）。法政大学名誉教授。スペイン現代史学会会長、武道家（合気道6段、杖道3段、居合道4段）。書評家。主要著書：『青春のスペイン戦争』（中公新書）、『スペイン—未完の現代史』（彩流社）、『スペイン—歴史の旅』（人間社）、『ジャック白井と国際旅団—スペイン内戦を戦った日本人』（中公文庫）ほか。

フラメンコスタジオ ミゲロン
Flamenco Studio **MIGUELON**

現役で活躍中のプロが講師をするフラメンコ教室

ダンス(バイレ)クラス
ギター・歌・パルマクラス
生徒募集中!



- 石橋スタジオ 池田市井口堂 1-9-3 センチュリーショウエイ VII1 F
 - 梅田スタジオ 大阪市北区太融寺町 8-10 梅田高速ビル 604
- ※ダンス(バイレ)クラス 十三スタジオ(アルディエンテ)にて開講中!

Tel 072-760-4858

E-mail miguelon@nifty.com WEB <http://www.miguelon.jp/>

フラメンコスタジオ ルイサ
山内恵子フラメンコクラス
Estudio Luisa

優雅に、激しく、繊細に...
フラメンコの魅力を感じてほしい。

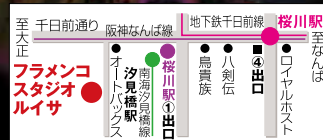
これからフラメンコを始めようとしている方。
興味はあるのだけれど、踊れるかどうか心配な方。
以前習っていたけれど...ブランクのある方。
どうぞお気軽にお問い合わせください。

初級～プロまで養成
(直接指導)

生徒募集中!

無料体験レッスン実施中! ※予約制

まずは ご予約・お問い合わせください
フラメンコスタジオ ルイサ
Mobile. 090-3675-5718
afrwg309@oct.zaq.ne.jp



詳しくは <http://luisa.littlestar.jp> をご覧ください。

★初心者の方から
プロ志望の方まで
舞踊・カンテ・ギター
・パルマ...等々
フラメンコに関する事なら
全て揃っています。



—大阪・岐阜—
ACADEMIA DE FLAMENCO KEIKO ISHIKAWA
石川敬子フラメンコ教室
舞踊・カンテ(唄)・ギター



生徒募集中

(本部) 〒575-0004
大阪府四條畷市岡山232-6

(TEL) **072-877-6664**

<http://www.flamencopepa.jp/>

Yunoフラメンコ教室

神戸校・姫路校

初級から上級まで歓迎

本場スペインのフラメンコ
Yunoフラメンコ教室で
じっくり学んでみませんか



生徒募集中!

体験レッスン
随時受付中

※要予約

ご予約・
お問合せ

Tel: 090-2701-7952 / 078-797-4303
Email: tacon.tacon@docomo.ne.jp
HP: yuno-flamenco.com

スペインタイルの給付教室
& 手作りタイル販売

スペインタイルアート工房
Tokyo/Osaka/Valencia (Spain)

大阪市西区南堀江 1-20-23-1003
Tel & Fax 06-4390-6545
Email: spaintile@japan.email.ne.jp
http://homepage1.nifty.com/spaintile/



スペイン菓子
サン・オロレ

〒851-2106
長崎県西彼杵郡時津町左底郷290-1
TEL: 095-860-8180 FAX: 095-860-8181



Costa de Valencia
escuela de español

すべてのレベルに対応可能
(初級～教師研修まで)。
1クラス最大8人まで、宿泊施設完備、
毎週アクティビティ有り、
DELE対応授業有り、
サッカー観戦&プレー、お祭り、
綺麗な海、暖かい気候、日本人生徒歓迎。

www.costadevalencia.com
info@costadevalencia.com
Av. Blasco Ibáñez, 66
E-46021 Valencia



 **ESTUDIO Sampere** desde 1956

スペイン・ラテンアメリカに5校舎展開。
生徒一人ひとりに合ったケアを行います。
Estudio Sampereは、60年の歴史ある語学学校です。
洗練された質の高い授業と、
また、どの年齢層にも対応したプログラムをご用意。
スペイン語だけではなく専門分野の知識も学べます。

CONTACT

T: +34 91 431 43 66
sampere@sampere.es
www.sampere.com



スペイン語作文の方法 [構文編]
小池和良 著 四六変型判 258頁 CD付 定価2,700円

時事スペイン語作文 658題を通し、正しい構文を選ぶ感覚をつけよう！

●165の構文パターン別に、課題文 165と練習 493題を訳しながら、作文力を確実に身につけることを目標としています。●実践的な解説と豊富な例文によって、文法規則に従い、意味が正しく通じるスペイン語を書く力を養成。●課題文の日本語・解答例を対訳形式で収録したCD付。

〒162-0805 東京都新宿区矢来町 106 ★価格は消費税 8% 込みです
Tel. (03)3267-8531 Fax. (03)3267-8606 http://www.daisan-shobo.co.jp **第三書房**



CURSO DE ACEITE DE OLIVA
スペイン・ハエンにて
最高教授陣から学ぶ
短期集中コース

2016年
2月開催

アンダルシア州政府
コース合格書授与

www.creapasion.com
"オリブオイルを知ろう"より
コース詳細をご確認ください

**acueductoに
広告を掲載しませんか？**

1コマ (4.5cm×4.5cm)
¥5,000- / 掲載1回分

✓ サイズ・料金は下記サイトより確認下さい
www.acueducto.jp/publicidad

【お問合せ・お申込み先】
有限会社ADELANTE
Tel: 06-6346-5554
Email: info@acueducto.jp

お申込みの際は
ご希望のサイズ・
掲載希望号を
明記ください

**LEARN SPANISH ABROAD
SPAIN · ECUADOR · CUBA**

 WE ♥ SPANISH

 **オンライン・スペイン語レッスン《アオラ》**

AHORA

いつでも好きな時に学べる
スカイプを使った
オンライン・スペイン語
スクールです。

 ¿Qué tal?

**マンツーマン
指導!**

**時間が
選べる!**

**登録料・
入会金ゼロ!**

**お支払いは、
チケット制!**



http://ahora-esp.com

CURSOS DE ESPAÑOL
～スペインとバスク文化の融合の街の伝統校～

- スペイン語一般コース
- スペイン語・インターンシッププログラム
- スペイン語・バスク料理
- スペイン語・サーフィン
- ホームステイ、ルームシェア、送迎サービス等

親切なスタッフと細かなサポート
一年を通して、短期留学から長期留学が可能

ラウンジ・インターナショナルハウス・サンセバスチャン
info@lacunza.com
www.lacunza.com



65歳以上
シニア入門コース

初回コースのみ特別価格
レッスン12回 ※通常価格44,160円(税込)
12,000円(税込) 教材費含む

1/13(水)、1/15(金) 10:30～スタート

 お問合せ先:
06-6346-5554
info@adelante.jp



スペイン菓子工房
ドウルセ・ミーナ

ー ボルボロン、トゥロン手作りの店ー

茨城県守谷市ひがし野3-11-2
TEL 0297-45-2740
http://dulcemina.jp/

バレンシア

イメージできますか？
最高のスペイン留学がかなう場所

バレンシアの中心地の
フレンドリーな語学学校
ショッピング、スペインバル、サッカー、
ビーチ、パエリア、歴史と文化…





Europe's
Best Airline



A STAR ALLIANCE MEMBER



Fly to Spain
with Turkish
Airlines.
Discover harmony



TURKISHAIR-
Voted Europe's Best Airline at the 2014 Skytrax Passengers Choice

**WIDEN YOUR
W O R L D**

**TURKISH
AIRLINES**



スペイン&中南米への留学サポート

留学相談、手続き代行無料サービス



- 学校への出願サポート
- 学生ビザ申請書記入のお手伝い
- 留学費用の海外送金
- ホームステイ、寮、又はシェアフラット、アパート等の申込み
- 空港出迎えサービスなど、各種オプションサービスの依頼代行

お問合せ

www.spainryugaku.jp
info@spainryugaku.jp
TEL:06-6346-5554

安心して出発できるよう、全力でサポートいたします

1週間のプチ留学から長期プログラムまで、色々な目的に合わせて豊富にラインアップ。あなたにぴったりの留学スタイル選び、入学手続きまで無料でお手伝いいたします。語学留学、シニア向けのロングステイプログラム、スペイン語+フラメンコ、スペイン料理、スペインワイン講座、など楽しいプログラムもあります。

スペイン全土、メキシコ・チリ・ペルーなど数多くの語学学校と提携

言葉に自信がなく、学校とのやり取りが不安な方も大丈夫。入学申請書類の作成や必要な書類の送付、留学費用の海外送金などは全て代行いたします。



www.adelante.jp

お問合せ

info@adelante.jp
TEL:06-6346-5554

大阪市北区梅田2-5-8千代田ビル西別館2F FAX:06-6110-5122

日本とスペインをつなぐ無料スペイン情報誌
[アケドゥクト] 発行元  **Asociación Cultural Española**
スペイン文化協会



スペイン語教室 ADELANTE

「私のスペイン語、通じた♪」を実感

- ネイティブ講師だからプチ留学気分ですぐに自然なスペイン語をマスター
- 定員6名までの少人数制グループレッスン
- ヨーロッパ共通参照枠CEFのレベルに即したカリキュラム
- 振替ができるので忙しくても安心
- 楽しい交流パーティーや文化イベントでスペイン語仲間がいっぱい
- 目的やペースに合わせて選べるコース
(一般・旅行・商業・DELE検定対策・プライベート・スペイン語の本を読むコースetc.)

無料体験レッスン
随時実施中!
お気軽に
お問合せ下さい。

スペイン語の本&雑貨

オンラインショップ アデランテ

ADELANTE
www.adelanteshop.jp

学習テキスト、文法問題集、
レベル別副読本、D.E.L.E.試験対策本、
絵本など各種取り扱っています。

送料全国一律280円。
8,000円以上のお買い上げで
送料無料!